

Ⅲ 健康づくり対策

Ⅲ 健康づくり対策

1 保健事業の実施体制

(1) 健康づくり推進事業

① 健康づくり推進事業者等の表彰

秋田県健康づくり推進条例第14条の規定に基づき、健康づくりの推進に関し積極的な活動を行っている事業者・団体等を表彰した。

平成25年度（4団体）

(1)ニプロ株式会社大館工場（大館市） 【主な活動内容等】 職員の健康管理に努め、産業医による講話、健診受診後の事後対応にも積極的に取り組むとともに、平成25年4月からは敷地内完全禁煙を実施するなど、健康づくりの環境整備に取り組んでいる。従業員、住民を対象とした生活習慣病セミナーを開催し、地域住民の健康づくりにも貢献している。
(2)NPO法人秋田健康支援情報局（秋田市） 【主な活動内容等】 フットケアセラピスト、管理栄養士、看護師、保育士、ピラティスインストラクターなどの有資格者が会員となり、住民を対象とした講話・講習会や母親を対象とした健康講座を定期的で開催。地域住民の健康づくりに貢献している。
(3)NPO法人角館総合型地域スポーツクラブ（仙北市） 【主な活動内容等】 自らの拠点施設（クラブハウス）を有し、スポーツ活動、文化的活動をとおして心身の健康づくりを積極的に推進、地域の世代間交流にも繋がっている。また、仙北市と連携により、震災支援を行うなど幅広い活動を行っている。
(4)上真山健康の駅（横手市） 【主な活動内容等】 横手市が設置している健康をテーマとした交流拠点施設「健康の駅」の第1号であり、住民が町内会館に自主的に集まり、健康増進活動を継続している。その活動は、新たに健康の駅を作ろうとしている地区の模範となっている。

(過去の受賞者)

平成16年度

- (1)鎌田段ボール工業株式会社秋田工場（能代市）
- (2)能代市健康づくりグループ連合会（能代市）
- (3)特定非営利活動法人秋田いのちの電話（秋田市）

平成17年度

- (1)秋田県健康管理士会（にかほ市）
- (2)フレッシュスポーツサークル（秋田市）

(3)特定非営利活動法人蜘蛛の糸（秋田市）

(4)株式会社菅与組（潟上市）

平成18年度

(1)能代山本退職婦人教職員レクダンスの会（能代市）

(2)心といのちを考える会（藤里町）

(3)グループかぜ（秋田市）

平成19年度

(1)NPO法人よこてスポーツクラブ（横手市）

(2)秋田グリーンケア研究会（秋田市）

(3)道城寿クラブ希望会（北秋田市）

平成20年度

(1)福館地区婦人会（上小阿仁村）

(2)男鹿市ニコニコ元気アップ体操クラブ（男鹿市）

(3)株式会社スズキ部品秋田（潟上市）

(4)株式会社タニタ秋田（大仙市）

(5)秋田.たばこ問題を考える会（秋田市）

(6)ホットハート由利（由利本荘市）

平成21年度

(1)株式会社五洋電子（潟上市）

(2)秋田・生と死を考える会（秋田市）

平成22年度

(1)秋田クレジット・サラ金・悪徳商法をなくす会（通称「秋田なまはげの会」）
（秋田市）

平成23年度

(1)秋田国際ファミリーマラソン大会実行委員会（秋田市）

(2)日本精機株式会社（秋田市）

平成24年度

(1)かみこあに総合型クラブ「スマイル」（上小阿仁村）

(2)生命の貯蓄体操普及会本荘準支部（由利本荘市）

(3)岩田光学工業株式会社秋田工場（由利本荘市）

② 健康づくり審議会等の開催

秋田県健康づくり推進条例並びに秋田県健康づくり審議会分科会及び部会設置要綱に規定する秋田県健康づくり審議会等を開催した。

会議名	開催年月日	場所・出席委員数	審議内容等
健康づくり審議会	平成25年 10月21日	ルポールみずほ 13人	・県の健康づくり関連事業について ・秋田県新型インフルエンザ等 対策行動計画について

(2) 秋田県健康増進交流センター（ユフォーレ）の設置

ユフォーレは、県民の健康づくりを積極的に推進するため、温泉利用を中心に運動や森林浴を取り込んだ健康増進の実践の場を提供するとともに、健康に関する情報提供・研修等を行う拠点施設として、平成9年7月25日に開設された。

1) 施設の位置及び内容

① 位 置 秋田市河辺三内字丸舞1-1（県立太平山自然公園内、岩見ダム手前3km）

② 内 容

県物	建	メイン棟（1,746㎡）	トレーニングルーム、健康相談・情報コーナー、レストラン、ロビー・大広間(3室)、個室(6室)、会議室(2室) ほか
		アクア棟（2,539㎡）	バーデゾーン（11種の浴槽）、プール、裸浴、リラククスルーム(3室)
		宿泊棟（1,143㎡）	一般宿泊棟（24室50人）、自炊棟（12室・30人）
	基盤	駐車場（8,050㎡）	第2駐車場（278台）、第3駐車場（70台）
		その他	構内道路（L=280m、W=8.5m）、送湯設備（1,100m）
秋田市	建	駐車場（1,646㎡）	第1駐車場（74台）
		森林浴コース	L=1,040m、W=2m
		緑地広場（35,900㎡）	グランドゴルフ、野外ステージ
		芝生公園（20,800㎡）	キャンプサイト、炊事場
	基盤	秋田市河辺高齢者健康づくりセンター（535㎡）	体育館、研修会議室 ほか 平成16年3月1日 旧河辺町が新設（メイン棟と渡り廊下で接続）
		その他	進入路（L=1,120m、W=8.5m）

③ 事業費（平成4～9年度）

秋田県	3,507 百万円
秋田市（河辺町）	1,200 百万円
計	4,707 百万円

2) 指導スタッフ等

医師（提携）・栄養士・温泉利用指導者・健康運動指導士が、健康相談や入浴・運動メニューの提供、生活指導等を行う。

3) 管理運営

平成23年4月1日から平成28年3月31日までの指定管理者として、河辺地域振興株式会社が健康増進事業の実施と施設管理を行う。

4) 平成 25 年度利用者の状況

(単位：人)

利用区分	利用者区分	H25.4.1～H26.3.31
全館利用者	一般	46,207
	子供（小学生・幼児）	2,719
	計（A）	48,926
	1日平均	136.66
	利用者比率 A/C	53.7%
入浴・休憩者	一般	39,722
	子供（小学生・幼児）	2,416
	計（B）	42,138
	1日平均	117.70
	利用者比率 B/C	46.3%
合計（C）		91,064
1日平均		254.37

※ 25年度は、24年度比で 594人増（0.66%増）であった。

5) 平成 25 年度月別利用者数

月	営業日数 (日)	入館者実績 (人)		
		全館利用者	入浴・休憩者	合計
4	30	3,603	2,908	6,511
5	31	4,460	3,342	7,802
6	30	3,714	3,087	6,801
7	28	3,672	3,316	6,988
8	31	4,582	4,422	9,004
9	30	4,864	4,128	8,992
10	31	4,432	3,551	7,983
11	30	3,747	4,061	7,808
12	30	3,744	3,475	7,219
1	31	3,898	3,843	7,741
2	25	3,711	2,601	6,312
3	31	4,499	3,404	7,903
合計	358	48,926	42,138	91,064

(3) 環境・保健事業功労者表彰

県民の健康づくり、衛生水準の向上及び生活環境の改善に貢献している個人及び団体を表彰し、健康づくりや衛生・環境等に対する意識高揚を図るため表彰式を行った。

開催年月日	場所	参集者数	備考
平成 25 年 10 月 23 日 (11:00～12:00)	秋田県庁正庁	被表彰者 104 人	・式典、表彰

(4) 市町村健康増進計画策定状況（平成26年9月1日現在）

市町村名	策定状況				
	策定済	策定年月日 (現行計画)	策定予定		
			平成26年度	平成27年度	未定
秋田市	○	25.3			
能代市	○	25.3			
横手市	○	19.3			
大館市	○	26.3			
男鹿市	○	26.3			
湯沢市	○	26.3			
鹿角市	○	25.3			
由利本荘市	○	26.3			
潟上市	○	25.3			
大仙市	○	18.3			
北秋田市	○	19.3			
にかほ市	○	24.3			
仙北市	○	21.3			
小坂町	○	19.3			
上小阿仁村	○	15.3			
藤里町	○	18.3			
三種町	○	18.3			
八峰町	○	21.3			
五城目町	○	26.3			
八郎潟町			○		
井川町					○
大潟村	○	21.3			
美郷町	○	18.3			
羽後町	○	17.4			
東成瀬村	○	16.3			
計		23	1		1

(注)

- 市町村合併した場合は、合併協議において既存計画を合併後の計画とみなすといった合意がなされている場合は、計画が策定されているものとして、策定年月は合併年月日としている。
また、そのような合意がされていない場合は、合併後の市町としての計画策定について記載している。

2 秋田県における保健師活動状況

(1) 就業場所別保健師数

調査年	保健所	市町村	病院	診療所	訪問看護 ステーション	介護 老人保 健施設 等	社会福 祉施設	事業所	学校・養 成所・研 究機関	その他	計
平成20年	104	270	54	27	2	5	6	18	10	17	513
平成22年	105.9	272.7	64.7	26	2	2	8	6.2	13.8	23	524.3
平成24年	72.7	242.3	71.1	25	1	2	1.3	15.1	14.0	41.1	485.6

平成22、24年は常勤換算による

資料：厚生労働省「衛生行政報告例」・隔年調査（12月末調査）

(2) 県及び市町村保健師の設置状況

保健所名		管内人口 (H24.10.1)	保健所 保健師数	市町村 保健師数	管内 保健師数	保健師1人当 たりの人口	市町 村数	備考
県 保 健 所	大館	114,814	7	39	46	2,495	3	
	北秋田	36,885	6	14	20	1,844	2	
	能代	85,870	8	29	37	2,320	4	
	秋田中央	88,493	10	37	47	1,882	6	
	由利本荘	108,411	7	39	46	2,356	2	
	大仙	134,010	9	55	64	2,093	3	
	横手	94,499	7	33	40	2,362	1	
	湯沢	67,108	6	22	28	2,396	3	
秋田市		320,154	—	51	51	6,277	1	
計		1,063,143	61	312	373	2,770	25	

資料：健康推進課調査（平成26年5月1日調べ）

※ 秋田県人口は、「平成25年10月1日現在秋田県の人口と世帯（速報）」による。（県調査統計課）

※ 人口の県計は、社会動態の県内移動を除いて算出しているため、市町村計（市郡計）とは一致しない。

3 栄養指導の推進

(1) 栄養改善対策事業

1) 栄養改善推進事業

① 栄養改善推進中央研修会

行政栄養士（県・市町村）及び在宅栄養士の資質向上のため、研修会を実施。

実施機関	実施期日（場所）	内 容	受講者数
健康推進課 *公益社団 法人秋田県 栄養士会と 共催	平成26年 1月21、22日 (ルポールみずほ)	<p>【21日】 講演「健康日本21（第2次）栄養施策の成果を最大限に得るための課題分析」 演習「成果のみえる栄養施策のために」 講師：国立保健科学院生涯健康研究部 上席主任研究官 石川みどり氏</p> <p>【22日】 講演「減塩・野菜摂取促進のための尿中Na/K比計測とその活用法」 講師：滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 岩堀敏之氏 講演「世界における健康・栄養の現状と課題、および健康・栄養政策～カンボジア給食支援プロジェクトから学んだこと～」 講師：青森県立保健大学健康科学部栄養学科 准教授 草間かおる氏</p>	延べ69人

② 栄養改善推進保健所研修会

県北、県央、県南の3地区（ブロック）ごとの保健所で実施。

地 区	実施期日（場所）	内 容	受講者数
(県 北) 〔大 館〕 〔鷹 巣 阿 仁〕 〔山 本〕	平成25年9月2日 (鷹巣阿仁福祉環境部)	<p>情報提供と意見交換</p> <p>①「第2期健康秋田21計画」について ②「秋田県県民の食生活指針」について</p> <p>講演「ロコモティブシンドロームについて」 講師：独立行政法人労働者健康福祉機構 秋田労災病院リハビリテーション科 第二部長 関展寿氏</p>	13人
(県 央) 〔秋 田〕 〔由 利〕	平成25年8月28日 (由利本荘市岩城 総合支所)	<p>情報提供「H24栄養調査より得られた県民の生活習慣 状況データについて」 説明「秋田県民の食生活指針（改訂版）について」 講話「医者いらずの食べ物健康法」 講師 すぎきクリニック 院長 鈴木裕之氏</p>	16人

(県南) (仙北) (平鹿) (雄勝)	平成26年2月3日 (平鹿総合病院)	情報交換「市町村における栄養・食生活事業の課題について」 講演「慢性腎臓病と食事療法について」 講師：秋田大学医学部附属病院 腎疾患先端医療センター 特任教授 奥山 慎 氏	24人
開催回数：3回			計53人

⑤食生活改善地区組織育成

ア) 地区組織状況

平成26年4月1日現在

福祉環境部	市町村名	組 織 名	会 員 (人)
大 館	大館市	大館市上川添地区食生活改善推進協議会	20
		大館市田代地区食生活改善推進協議会	23
		大館市比内地区食生活改善推進協議会	10
	鹿角市	鹿角市食生活改善推進協議会	38
	小坂町	小坂町七滝地区食生活改善推進協議会	16
北 秋 田	北 秋 田 市	北秋田市食生活改善推進協議会	116
	上小阿仁村	上小阿仁村食生活改善推進協議会	10
秋 田	男鹿市	男鹿市食生活改善推進協議会	45
	潟上市	潟上市食生活改善推進協議会3支部	190
	五城目町	五城目町食生活改善推進協議会	60
	井川町	井川町食生活改善推進協議会	63
由 利	由利本荘市	由利本荘市食生活改善推進協議会8部	311
	にかほ市	にかほ市食生活健康推進協議会3支部	74
仙 北	大仙市	大仙市食生活改善協議会8支部	238
	仙北市	仙北市食生活改善推進協議会3支部	62
	美郷町	美郷町健康生活推進協議会3支部	59
平 鹿	横手市	横手市食生活改善推進協議会8支部	285
雄 勝	湯 沢 市	湯沢市食生活改善推進協議会4支部	124
	羽 後 町	羽後町食生活改善推進協議	25
	東成瀬村	東成瀬村食生活改善推進協議会	21
18市町村(支部単位48協議会)			1,790

イ) 秋田県食生活改善推進協議会の活動状況

平成25年度実績

区 分	内 容
会 員 数	1,790人 (H25年度 加入市町村数18、協議会数20、支部数48)
会 議	総会 1回 265人、理事会 4回 機関誌大根の葉編集委員会 1回
主たる事業	生涯骨太クッキング事業 20協議会 691人
	おやこの食育教室 20協議会 694人

ヘルスマイトが繋ぐパートナーシップ [®] 事業	20協議会	528人(講習会)	61人(会議)
男性のための料理教室	10協議会	154人	
秋田県委託事業			
①あきた減塩推進事業	イベント：18市町村 伝達講習：55カ所		
②ヘルスマイトのふる里まるごと健康づくり事業	18市町村、53回		

ウ) 食生活改善地区組織活動実績集計 (平成25年度)

1. 方法別活動状況

活動 推進員数 (人)	手帳利 用者(人)	活 動 方 法						自己学習 回 数
		集 会		対話・訪問、その他		計		
		回数	人数	回数	人数	回数	人数	
1,790	1,737	6,485	88,419	50,541	145,724	57,026	234,143	14,409

2. 項目別活動状況

生活習慣病予防		母子の健康貧血予防		高齢者の健康・食生活		その他		総 数	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
23,399	105,308	9,225	33,996	20,836	71,018	3,566	23,821	57,026	234,143

2) 保健栄養改善対策事業

①調理師等食育推進研修会実績

目的：県民の食育を支援するため、飲食店等に就業する調理師や地域において食育活動をしているボランティア等を対象に、健康づくり及び生活習慣病予防に関する知識の学習や調理技術の演習、情報交換等を実施。

福祉環境部	実施年月日(場 所)	内 容	受講者数
大 館	平成25年10月29日 (北部老人福祉総合エリア コミュニティーセンター)	解説「改訂版 秋田県民の食生活指針について」 講話「食品衛生について」 調理実技実習「素材を生かした季節の料理」	47人
鷹 巣 阿 仁	平成25年10月30日 (北秋田市中央公民館)	講話「食中毒予防について」 説明「県民の食生活指針について」 資料説明「野菜をたくさん食べるポイント」 調理実習「野菜たっぷり料理でヘルシーに」	42人
山 本	平成25年10月29日 (能代市南部公民館)	講演「年代に応じた減塩を主とした食育の実際」 持参したみそ汁の塩分濃度測定と食塩含量について 情報提供「秋田県民の食生活指針について」 師範調理「天然だしを使っておいしく減塩する～お吸い物とお味噌汁で実感～」	35人
秋 田	平成26年2月24日 (潟上市昭和公民館)	講話「安全に食事を提供するために」 情報提供「秋田県民の食生活指針について」 調理実習「おいしく＝減塩・地産地消」	35人

由利	平成26年1月29日 (西目公民館)	講話「日本人の食生活の変化と食育をめぐる諸問題」 地場産物を使った食育料理紹介	60人
仙北	平成25年11月1日2日 (仙北市生保内武道館前特設テント)	大曲仙北の食文化と減塩ヘルシー料理の普及	11人 (住民3,000人)
平鹿	平成26年1月28日 (横手市交流センター)	講話「プロが教える減塩のコツ」 講話「ノロウイルス食中毒予防対策を学ぶ」	130人
雄勝	平成25年10月24日 (湯沢市ふるさとふれあいセンター)	説明「秋田県民の食生活指針について」 講話と模範調理「プロがおしえる減塩のコツ」	50人
計 8回			410人

② 特定給食施設等指導状況

ア) 食数区分別施設数

平成26年3月31日現在

種 別	A				B				C				D				小 計				合 計
	1回300食以上 又は1日750食 以上				1回100食以上又 は1日250食以 上				1回50食以上 又 は1日100食 以上				1回20食以上 又は1日50食 以上								
	イ	ロ	ハ	ニ	イ	ロ	ハ	ニ	イ	ロ	ハ	ニ	イ	ロ	ハ	ニ	イ	ロ	ハ	ニ	
学 校	32	11	48	11	7	0	25	33	2	0	3	12	0	0	0	1	41	11	76	57	185
病院・診療所	1	20	0	0	2	36	1	0	2	0	2	0	2	1	4	6	6	58	7	6	77
介護老人保健施	0	0	0	0	10	33	7	0	3	5	1	0	0	0	0	0	13	38	8	0	59
老人福祉施設	0	0	0	0	16	19	22	0	12	10	33	1	3	0	12	4	31	29	67	5	132
児童福祉施設	0	0	0	0	3	2	52	31	3	0	40	38	0	0	16	19	6	2	108	88	204
社会福祉施設	0	1	0	0	2	1	7	0	5	2	21	2	1	0	2	0	8	4	30	2	44
事業所	0	0	0	0	0	0	2	3	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2	5	7
寄宿舎	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2
矯正施設	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
自衛隊	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2	0	3
一般給食センター	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
その他	0	0	1	1	0	0	11	9	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	14	11	25
計	35	33	49	12	40	91	130	76	27	18	103	55	5	1	34	31	107	143	316	174	740

注) (イ) は管理栄養士のみの施設 (ロ) は管理栄養士と栄養士のいる施設

(ハ) は栄養士のみの施設 (ニ) は管理栄養士・栄養士ともいない施設

* AおよびBは、健康増進法で定める特定給食施設(秋田市分はAおよびBのみ)

イ) 地域振興局別給食施設数（秋田県における給食施設の届出等に関する取扱要領に基づく届出施設）

	大館	鷹巣阿仁	山本	秋田	由利	仙北	平鹿	雄勝	計
学校	19	11	7	22	37	14	8	11	129
病院・診療所	10	2	14	3	11	9	4	5	58
介護老人保健施設	5	2	4	7	14	7	4	3	46
老人福祉施設	15	7	20	16	6	28	18	10	120
児童福祉施設	22	14	24	16	34	26	30	15	181
社会福祉施設	8	10	2	5	6	4	2	5	42
事業所	0	0	1	0	0	1	0	1	3
寄宿舍	0	0	0	1	0	0	0	0	1
矯正施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自衛隊	0	0	0	1	0	0	0	0	1
一般給食センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	3	0	3	5	1	9	1	2	24
計	82	46	75	76	109	98	67	52	605

ウ) 特定給食施設等指導状況

福祉 環境 部	個別指導			集団指導（研修会）		
	特定給 施設	その他 の施設	計	実施年月日 （場所）	内 容	参加 者数
大館	施設 25	施設 1	施設 26	①平成25年10月31日 （北秋田市交流センター） ②平成25年9月5日 （北部老人福祉総合 エリア）	* 県北3保健所合同開催 情報提供「特定給食施設における栄養管理について」 講演「日本一おいしい給食を目指して～足立区学校給食の取り組み～」 講師：足立区教育委員会 安田真人氏 グループワーク 「給食の栄養管理の課題を探るための指標等と問題解決のための取り組みを考える」 * 大館福祉環境部単独 情報提供「今年の巡回状況（栄養関係）と栄養管理について」 情報提供「今年の巡回状況（衛生管理）と危機管理の徹底について」 講演「食物アレルギーと給食現場での対応」 講師：大館市立総合病院 副診療局長 高橋義博氏	84人
鷹巣 阿仁	14	8	22			46人
山本	16	13	29			90人
秋田	12	2	14	平成25年11月8日 （秋田市保健所）	*秋田市保健所と合同開催 講演「健康日本21（第二次）について」 講師：聖霊女子短期大学 講師 高山裕子氏 講話「特定給食施設と健康増進計画との関わりについて」 情報提供「秋田県民の食生活指針について」	90人

由利	14	10	24	平成25年10月3日 (鶴舞会館)	講話「子供のアレルギーについて」 講師：本荘第一病院 薬剤師 齋藤香奈子氏 情報提供「給食管内状況～栄養報告書まとめ～」	38人
仙北	5	0	5	平成25年9月12日 (平鹿生涯学習センター)	* 県南3保健所合同開催 講演「さあ、はじめよう、健康づくり～第2期健康秋田21計画」 講師 秋田県健康推進課担当 師範調理と試食「おいしい減塩のコツ～スパイスとだしをきかせた調理の工夫」 講師：野菜ソムリエ 佐藤ぼんじょる氏	128人
平鹿	16	17	33			
雄勝	15	5	20			
計	117	56	173	講習会開催回数 (5回・参加者386人)		

3) 健康増進業務

加工食品等の表示について、健康増進法第31条（栄養成分表示基準）及び第32条の2（誇大表示の禁止）に基づき、表示を行った業者等へ助言・指導をする。第32条の2（誇大表示の禁止）は、4半期毎に東北厚生局に指導事例を報告する。

①健康増進法第32条の2（誇大表示の禁止）に基づく指導

報告期	保健所からの事例報告数		東北厚生局への事例報告
	31条	32条の2	32条の2
平成24年 4月～ 6月	2	1	1
平成24年 7月～ 9月	0	5	5
平成24年10月～12月	0	7	7
平成25年 1月～ 3月	3	0	0
計	5	13	13

②食の健康づくり応援店推進事業実施状況

ア) 登録状況

H26.3.31現在

	登録店舗数	登録内容			
		まごころサービス	ヘルシーメニュー	栄養成分表示	おいしい空間
大館	43	35	13	12	20
鷹巣・阿仁	31	30	8	4	9
山本	57	35	3	11	27
秋田中央	57	54	6	4	24
由利	59	56	34	32	21
仙北	90	90	27	46	47

平鹿	43	37	11	17	23
雄勝	33	30	8	5	19
秋田市保健所	42	40	8	11	30
計	455	407	118	142	220

イ) 推進体制の整備

- ・食の健康づくり応援店事業推進説明会 計9回、参加者数：561人
- ・登録店の状況確認 162店舗（個別巡回等）

① 免許交付状況

1) 栄養士免許交付数（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

項目	免許交付数	再交付数	訂正交付数	免許交付者累計
件数	167	18	62	7,184

2) 調理師免許交付数（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

項目	免許交付数	再交付数	書換交付数	免許交付者累計
件数	329	42	50	34,902

② 養成施設

1) 栄養士養成施設（平成25年5月現在）

名称	所在地	設置者	定員	H25年度入学者
秋田栄養短期大学 栄養学科	秋田市下北手桜字 守沢46-1	学校法人 ノースアジア大学	80人	65人
聖霊女子短期大学 生活文化科 健康栄養専攻	秋田市寺内字 高野62-2	学校法人 聖霊学園	60人	66人
聖霊女子短期大学 専攻科 健康栄養専攻	〃	〃	15人	12人

2) 調理師養成施設（平成25年5月現在）

名称	所在地	設立者	課程・夜別間	入学定員	総定員	入学者数	入所時期	修業期間	年指月日定
秋田県調理師 専門学校	〒011-0943 秋田市土崎港南2-3-47	学校法人 大内学園	専門	80	80	47	4	1	S48.9.1
大館調理師 専門学校	〒017-0872 大館市片山町1-3-10	学校法人 大館ホリヤ学園	昼	30	40	14	4	1	S54.3.15
国学館高等 学校調理科	〒010-0875 秋田市千秋明德町3-31	学校法人 敬愛学園	昼	40	120	35	4	3	S57.3.24

③ 管理栄養士登録状況（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

項目	新規登録者数	再交付数	訂正書換交付数	登録者累計
件数	38	0	13	855

3) 調理師試験状況

（年度別状況）

年度	受験申込者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率(%)
平成 16	496	478	381	79.7
17	403	394	353	89.6
18	419	406	326	80.3
19	393	386	277	71.8
20	342	330	243	73.6
21	298	283	203	71.7
22	332	312	251	79.2
23	322	317	267	84.2
24	296	286	219	76.6
25	283	281	201	71.5

(2) 栄養調査

平成25年国民健康・栄養調査

調査月日：平成25年11月中の1日

調査地区：①男鹿市野石字下夕谷地、野石字宮沢 24世帯78人（協力17世帯）
②由利本荘市東梵天 19世帯57人（協力14世帯）

【参考】

① 国民健康・栄養調査（平成24年：大規模調査）

調査月日：平成24年11月中の1日

調査地区：国の無作為抽出による地区指定（秋田県内指定分：10カ所）

横手市雄物川町、男鹿市金山、鹿角市花輪、大仙市南外、北秋田市七日市、
にかほ市田角森、八峰町峰浜、秋田市（保戸野、土崎港、下浜）

協力：326世帯、828人、平均年齢52.2歳、世帯員平均2.5人

ア) 栄養素等摂取量（1人1日当たり）

栄養素	平均値 (n=828人)	再掲20歳以上(n=706人)
エネルギー (kcal)	1,851	1,864
たんぱく質 (g)	69.0	69.6
脂質 (g)	50.4	49.2
炭水化物 (g)	262.1	265.2
カリウム (mg)	2,305	2,365
カルシウム (mg)	487	476
鉄 (mg)	7.5	7.8
食塩 (g)	10.8	11.1
ビタミンA (μg RE)	494	488
ビタミンB ₁ (mg)	0.86	0.86
ビタミンB ₂ (mg)	1.17	1.17
ビタミンC (mg)	101	104
食物繊維総量 (g)	15.7	16.3

イ) 主な食品群摂取状況（1人1日当たり）

食品群別(g)	平均値 (n=828人)	再掲20歳以上(n=706人)
穀類 (うち米類) (うち小麦加工、他)	447 (362) (86)	445 (365) (89)
いも類	54	56
砂糖類	6	6
菓子類	23	22
油脂類	9	9
豆類	64	66
果実類	121	123
緑黄色野菜	85	88
その他の野菜	195	200
つけもの	22	25
きのこ類	24	24
海藻類	7	8
嗜好飲料 (うちアルコール飲料)	505 (121)	560 (142)
魚介類	92	98
肉類	76	72
卵類	34	33
乳類	104	83
調味料・香辛料類	77	80

ウ) 年度別食品群別摂取状況 (1人1日当たり:g)

	全 国	秋 田 県				
	H 2 3	S 6 2	H 8	H 1 3	H 1 8	H 2 3
調査対象者数 (世帯数) 人	8247	(202)	1429	1178	1171	871
穀 類	267.7	275.7	253.6	269.3	257.7	257.3
米類(再掲)※	151.8	213.8	201.8	194.5	181.0	178.7
小麦・その他の穀類(再掲)	110.9	61.9	51.8	74.8	76.7	78.6
いも類	54.1	72.9	67.5	74.1	65.4	60.1
砂糖・甘味料類	6.6	8.2	7.9	5.6	5.9	6.9
豆 類	51.7	88.3	87.4	61.9	66.6	63.9
種実類	2.0	—	1.7	2.5	2.1	2.1
野菜類※	266.5	274.9	312.0	298.5	314.2	308.6
緑黄色野菜(再掲)	86.6	75.6	72.0	89.8	95.7	90.8
その他の野菜(再掲)	179.9	160.6	199.1	179.0	189.3	199.9
果実類	105.7	175.0	151.8	135.9	124.3	127.4
きのこ類	14.7	17.7	16.6	20.1	22.7	20.0
海藻類	10.4	7.5	9.1	11.0	12.6	9.8
魚介類	72.7	123.3	118.5	112.9	99.3	94.3
肉 類	83.6	61.3	65.1	70.0	64.8	70.2
卵 類	34.8	40.1	40.9	39.1	37.8	36.1
乳 類	122.7	97.7	137.1	142.6	119.2	119.5
油脂類	10.1	13.0	13.1	9.9	8.1	7.9
菓子類	25.2	18.0	26.0	24.3	22.5	23.4

※H13以降の米類は、「めし」を「米」に換算(めし×0.47=米)

※野菜類には、「緑黄色野菜」「その他の野菜」の他に「野菜ジュース」「漬けもの」がH13年より食品の分類が変更されているため、それ以前との比較には注意が必要である。

②平成23年度県民健康・栄養調査結果

調査の概要

調査時期：平成23年11月を中心とする前後1ヶ月

調査対象：県内18地区の468世帯1,317人を対象

協 力：311世帯871人（世帯協力率66.5%、対象者協力率66.1%）

主な調査項目：栄養摂取状況調査（1日の食事状況等）

みそ汁塩分調査

身体状況調査（身長・体重・福井・血圧・歩行数）

食生活状況調査（食習慣に関するアンケート調査）

調査結果

ア 年度別栄養素等摂取状況(総数)

	全 国 H 2 3	秋 田 県 S 6 2	秋 田 県 H 8	秋 田 県 H 1 3	秋 田 県 H 1 8	秋 田 県 H 2 3
調査世帯対象者数 人 (世帯数)	8247	(341)	1429	915	976	739
エネルギー kcal	1840	2012	1967	2063	1881	1860
たんぱく質 g (うち動物性 g)	67.0 36.4	83.4 44.5	80.2 44.5	79.1 42.9	71.5 37.9	69.2 36.8
脂 質 g (うち動物性 g)	54.0 27.4	52.9 27.8	53.0 28.4	52.6 27.6	46.8 23.6	47.8 24.4
炭水化物 g	255.1	282	273	295	273.7	270.0
カリウム mg	2189	—	2993	2702	2492	2373
カルシウム mg	507	563	568	561	528	517
鉄 mg	7.5	11.5	10.9	9.0	8.2	7.7
食 塩 g	10.1	14.6	13.9	13.3	11.3	11.1
ビタミンA※ μg RE	532	2275(IU)	2260(IU)	976(μg)	561	532
ビタミンB ₁ mg	1.49	1.38	1.24	0.92	1.17	0.99
ビタミンB ₂ mg	1.46	1.36	1.39	1.28	1.30	1.31
ビタミンC mg	110	141	143	114	122	109

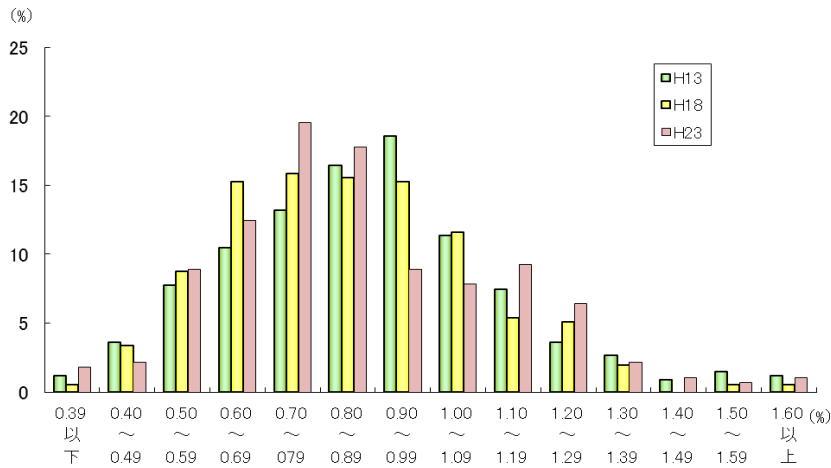
イ みそ汁の塩分状況

みそ汁の塩分濃度の平均値は0.87%で、平成18年（0.85%）とほぼ同じである。

単位（%）

	調査検体数	平均値	標準偏差	最大値	中央値	最小値
県 北	77	0.84	0.24	1.43	0.81	0.36
中 央	86	0.87	0.25	1.72	0.83	0.28
県 南	118	0.89	0.34	2.62	0.84	0.35
全 県	281	0.87	0.29	2.62	0.83	0.28

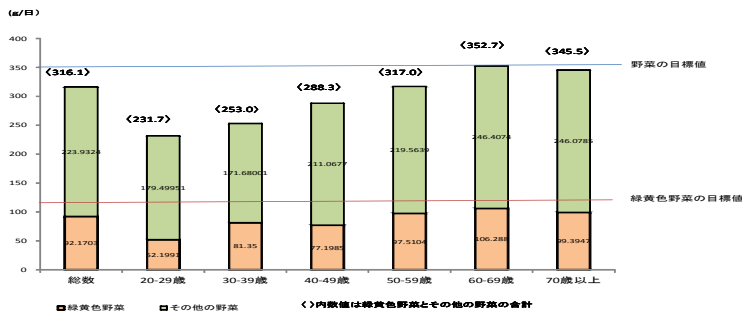
みそ汁塩分濃度の分布状況



ウ 野菜の摂取状況

成人の1日の野菜摂取量の平均値は316.1gだった。

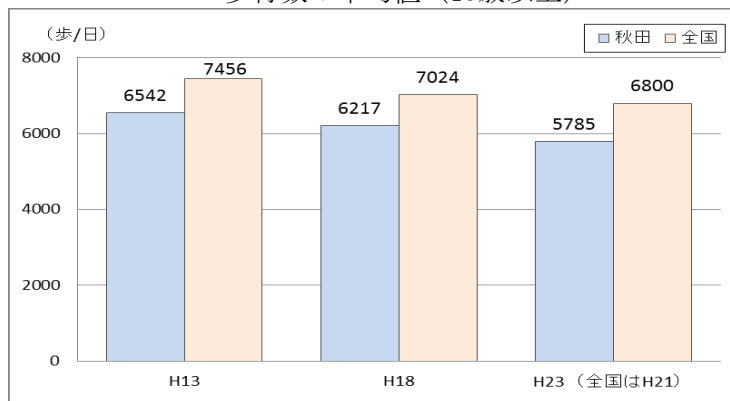
野菜摂取の平均値 (成人1人1日あたり)



エ 歩行の状況

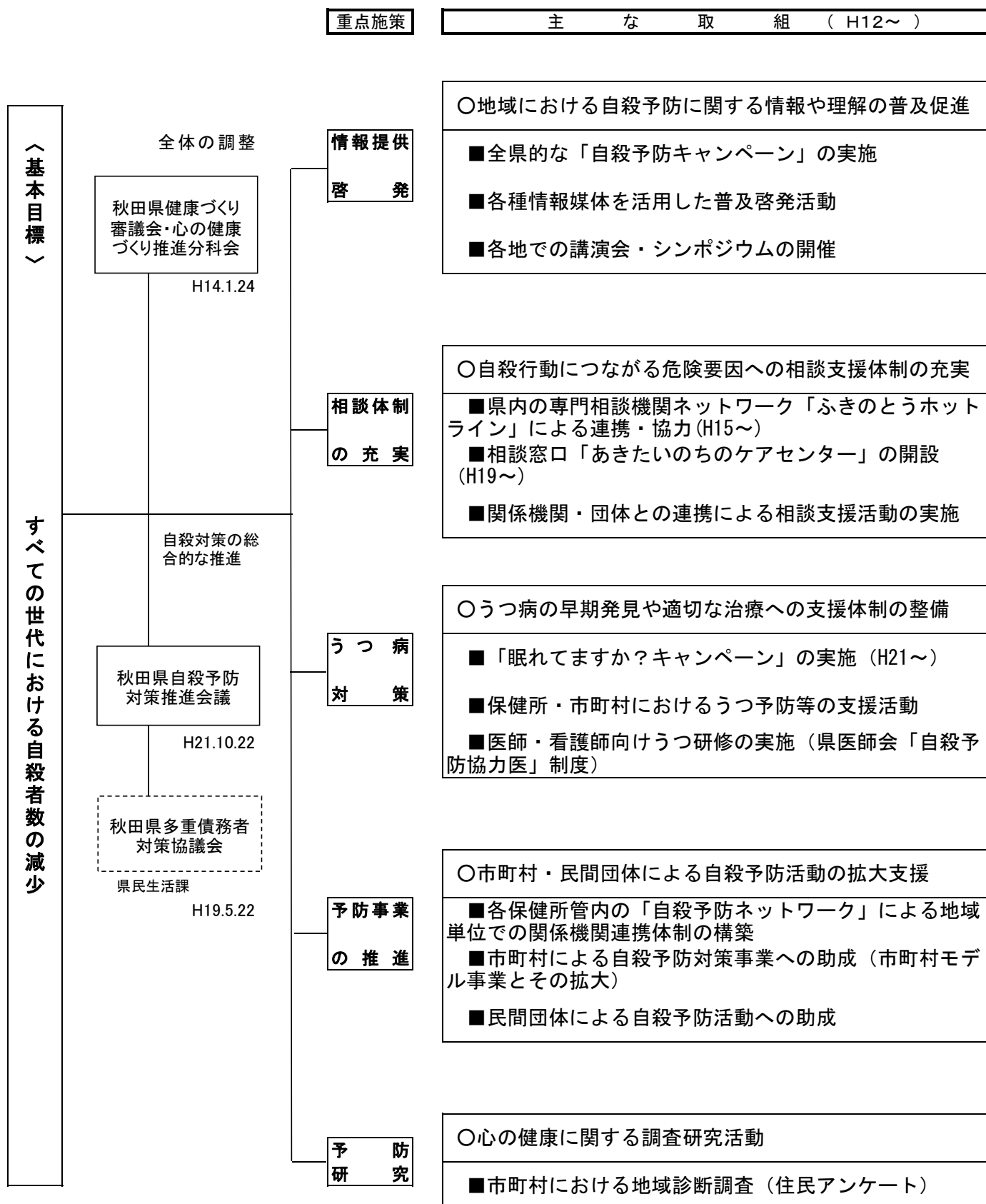
1人1日当たりの平均歩行数は5,785歩で、全国(平成21年)を下回り、平成13年、平成18年と比較して減少している。

歩行数の平均値 (15歳以上)



4 心の健康づくり・自殺予防対策事業

心の健康づくり・自殺予防対策については、平成12年度以降、5つの重点施策により事業を推進してきており、平成21年度より、全庁的な連携による対策の強化を図るため知事を議長に全部局長が参加する「秋田県自殺予防対策推進会議」を設置している。



自殺予防対策主要事業の推移

秋田県健康福祉部健康推進課

施策体系		12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	
調整機能	重点施策	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	
H13～ 心の健康づくり推進分科会 総合的な推進 庁内・関係機関の調整 自殺対策推進会議 H21～ 多重債務者対策協議会 H19～	情報提供・啓発	○心の健康づくり推進協議会(1回)	(2回)	(2回)	名称変更:心の健康づくり推進分科会(1回)	(2回)	(2回)	(2回)	(1回)	(2回)	(1回)		
		○命の尊さを考えるシンポジウム(県大会1回 1,000人)	(県内3地区各1回720人)	(保健所単位6回)	(各保健所2市町村開催指導)	(市町村開催指導)							
				○県広報誌による啓発情報提供	○健康対策課ホームページ作成(市町村等広報媒体整備)	○自殺予防リーフレットの作成(全戸配布H16.3月)	○「いのちを大切に」キャンペーンリーフレット全世帯配布(10～12月)	○「いのちを大切に」キャンペーンリーフレット全世帯配布(10～12月)	・新聞広告等による啓発(7～9月)	・県政だより「か・だ・ろakita」特集記事(9月)	・県政だより「か・だ・ろakita」特集記事(9月)	・県政だより「秋田で元気に！」特集記事(9月、3月)	・県政だより「秋田で元気に！」特集記事(9月)
					○職域研修 ・経済同友会(1回)	・メンタルヘルス研修会(3カ所)	・セミナー(1カ所) ・メンタルヘルス研修会(3カ所)	・メンタルヘルス研修会(6カ所)	・メンタルヘルス研修会(3カ所)	・メンタルヘルス研修会(3カ所)	・各福祉環境部事業において実施	・各福祉環境部事業において実施	
	相談体制の充実	○地域相談民生委員等研修への専門家派遣(5回 616人)	(5回)	○相談ネットワーク(心のセーフティネット)設立	○心のセーフティネットの運営 ・愛称:ふきのとうホットライン ・研修会(1回)	・研修会(3地区)	・研修会(3地区)	・研修会(3地区)	・研修会(3地区)	・研修会(3地区)	・各団体交流会(1回)	・各団体交流会(1回)	・「相談支援窓口情報活用ガイド」研修資料配布
					○遺族ケア研修会(3地区各1回)	・研修会(3地区)	地域遺族研修(3地区) 教職員遺族研修(3地区)	地域遺族研修(3地区) 教職員遺族研修(3地区)	福祉環境部事業で実施	遺族支援者研修(1回) ※内閣府共催事業	○遺族支援情報リーフレット全県配布		
						○フリーダイヤル相談実施 ・経済苦・病苦の相談 11月14日～20日	・いのちの電話 7～9月	・いのちの電話 7～9月	○あきたいのちのケアセンター開設(8月)	○いのちのケアセンター相談通年実施 ○事業主対象巡回相談会(2～3月)	・ケアセンター相談 ○多重債務等緊急相談会(9～12月) ○ハローワーク心の健康相談(12月～)	・ケアセンター相談 ○多重債務等相談会(6～10月) ○ハローワーク心の健康相談(通年)	
うつ病対策	○一般科医師に対するうつ病研修委託(2回 145人)	(3地区各1回)	(3地区各1回)	○保健師向け「うつ対応マニュアル」作成(医師会委託)	(3地区各1回)	(4地区各1回)	(2地区各1回) ※看護師も含む研修 以下同じ	(3地区各1回)	(2地区各1回)	(2地区各1回) ○市民向けパンフ「うつにならない工夫」作成(医師会委託)	(2地区計3回)	(3地区計3回) ○医療等関係者向けアルコール・薬物依存症研修	
			○うつ講座の開催(精神保健福祉センター3回)	○うつ病本人・家族教室の開催(21回)	福祉環境部事業で実施	福祉環境部事業で実施	福祉環境部事業で実施	福祉環境部事業で実施	福祉環境部事業で実施	福祉環境部事業で実施	福祉環境部事業で実施		
予防事業の推進	○市町村自殺予防事業補助(合川町、中仙町)	(合川町、中仙町、藤里町、東由利町)	(合川町、中仙町、藤里町、東由利町、大森町、千畑町)	(藤里町、東由利町、千畑町、大森町)	(美郷町、大森町、能代市)	(鹿角市、能代市、北秋田市)	(鹿角市、能代市、北秋田市、横手市、にかほ市、仙北市、五城目町、羽後町)	(横手市、にかほ市、仙北市、五城目町、羽後町、秋田市、大館市、湯沢市、湯上市、大仙市、上小阿仁村、三種町、八峰町、大湯村、小坂町、八郎潟町、井川町、東成瀬村) 22市町村	(横手市、にかほ市、仙北市、五城目町、羽後町、秋田市、大館市、湯沢市、湯上市、大仙市、上小阿仁村、三種町、八峰町、大湯村、小坂町、八郎潟町、井川町、東成瀬村) 20市町村	(横手市、にかほ市、仙北市、五城目町、羽後町、秋田市、大館市、湯沢市、湯上市、大仙市、上小阿仁村、三種町、八峰町、大湯村、小坂町、八郎潟町、井川町、東成瀬村) 20市町村	(利本荘市、小坂町、八郎潟町、東成瀬村) 4市町村 ※H22までに全市町村補助期間満了	○地域自殺対策緊急強化事業費補助(全25市町村)	
			○市町村取組促進会議の開催										
予研究	○民間団体の育成・支援(いのちの電話補助)												
	○実態調査委託研究(県補助・委託)	○予防モデル市町村地域診断事業(合川町、中仙町)	(東由利町)	(大森町、千畑町)	(能代市)	(鹿角市)	(にかほ市、仙北市)	(八峰町) ※県補助活用で実施	(横手市、湯沢市) ※県補助活用で実施	(三種町) ※県補助活用で実施			
自殺者数	秋田県	457	438	494	519	452	447	482	420	410	416	358	
	全国	30,251	29,375	29,949	32,109	30,247	30,553	29,921	30,827	30,229	30,707	29,554	
予算額計(単位千円)		3,100	8,023	9,886	14,973	8,965	15,102	18,078	33,023	25,133	58,001	104,501	

(1) 相談体制の充実

平成15年度に、県内各分野の相談機関・団体のネットワーク「ふきのとうホットライン」を立ち上げ、これら相談窓口間の連携・協力の促進や窓口情報の普及・啓発を実施してきている。

特に情報の普及については、平成19年度に県政広報誌「か・だ・ろakita」（県内全戸配布）及び秋田県公式ホームページ「美の国ネット」に相談窓口一覧を掲載するほか、窓口一覧リーフレットの印刷・配布など例年継続して実施している。

（「ふきのとうホットライン」に参加する相談機関の状況）

- 平成18年度 18分野70機関に拡大
- 平成19年度 18分野73機関に拡大
- 平成22年度 18分野76機関に拡大
- 平成23年度 18分野79機関に拡大
- 平成24年度 18分野81機関に拡大
- 平成25年度 18分野84機関に拡大

(2) 自殺予防関連の研修等実績一覧（平成25年度）

項目	実施日等	場 所	時 間	参加者等
秋田県自殺予防対策推進会議				
第1回秋田県自殺予防対策推進会議	H25.5.27(月)	第一応接室	9:30～10:00	—
第2回秋田県自殺予防対策推進会議	H26.1.20(月)	第一応接室	9:30～10:00	—
秋田県自殺予防対策推進会議の部会長、スタッフ合同会議	H26.1.15(水)	議会棟特別会議室	13:30～15:00	—
その他の協議会等				
第8回秋田県多重債務者対策協議会(生活環境部主催)	H25.8.29(木)	秋田県議会棟特別会議室	10:30～12:00	26
自殺未遂者支援検討会	H26.3.11(火)	議会棟特別会議室	18:30～20:00	14
各種キャンペーン・研修会・相談会等				
自殺予防街頭キャンペーン(「世界自殺予防デー」)	H25.9.10(火)	秋田駅前ポポロード	7:20～8:00	県民対象
自殺予防街頭キャンペーン(「いのちの日」)	H25.11.29(金)	秋田駅前ポポロード	7:00～8:00	
自殺予防街頭キャンペーン(「秋田県いのちの日」)	H26.2.28(金)	秋田駅前ポポロード	7:00～8:00	
職場におけるメンタルヘルス講習会 (秋田労働局との共催)	H25.10.7(月)	秋田テルサ	13:30～16:00	188
	H25.10.17(木)	湯沢文化会館	13:30～16:00	88
	H25.10.28(月)	能代市勤労青少年ホーム	13:30～16:00	67
	H25.10.30(水)	由利本荘市民交流学習センター	13:30～16:00	79
	H25.11.21(木)	大仙市仙北ふれあい文化センター	13:30～16:00	77
	H25.12.19(木)	大館市民文化会館	13:30～16:00	101
自殺予防対策市町村事業検討会	H25.11.11(月)	秋田地方総合庁舎402・403会議室	13:30～16:30	34
自殺未遂者支援対策関係者研修会	H26.2.17(月)	ルポールみずほ	13:30～16:30	104
心の人材バンク・講師派遣事業 (各分野の講師を県内の各種研修会・講演会に派遣)	H25.4～H26.3	派遣件数34		
ハローワークにおける心の健康相談会 (委託先:(社)日本産業カウンセラー協会東北支部)	H25年度毎月第3 金曜日	ハローワーク大館(大館市) ハローワーク秋田(秋田市) ハローワーク横手(横手市)	9:00～16:00	98
アルコール関連問題研修会	H25.11.25(月)	カレッジプラザ	13:00～16:00	115
高齢者自殺予防普及啓発事業 わらび座いきいきシアター「笑顔予報は晴れのち晴れ」	H26.3.14(金)	小坂町康楽館	14:30～15:30	168
	H26.3.15(土)	井川町農村環境改善センター	14:30～15:30	158
	H26.3.16(日)	東成瀬村地域交流センター	14:30～15:30	170
	H26.3.21(金)	八郎潟町農村環境改善センター	14:30～15:30	220
	H26.3.22(土)	羽後町文化交流施設	14:30～15:30	139
	H26.3.23(日)	上小阿仁村生涯学習センター	14:30～15:30	206
県医師会委託研修事業(医師・看護師等向け研修)				
認知療法・認知行動療法研修会	H26.3.21(金)	秋田県総合保健センター	9:30～17:30	39
うつ病相談対応研修会	H26.1.28(火)	秋田県医師会館会議室	18:30～20:30	34
うつ病対策研修会・産業医研修会	H25.12.14(土)	大館北秋田医師会館	18:30～20:30	30
	H26.1.21(火)	秋田県医師会館		32
	H26.3.6(木)	グランドバレス川端		22
その他(主な共催後援事業)				
秋田メンタルヘルスサポーターフォローアップ研修会 (主催:秋田大学)	H25.7.6(土)	秋田大学60周年記念ホール	10:00～15:30	200
秋田ふきのとう県民運動大会 (主催:秋田ふきのとう県民運動実行委員会)	H25.10.20(日)	秋田ビューホテル	10:00～15:00	170
第37回日本自殺予防学会総会	H25.9.13(金) ～H25.9.15(日)	秋田県総合保健センター		600
秋田いのちの電話2013年度自殺予防公開講座	H26.1.25(土)	秋田県総合保健センター	14:00～15:30	80
これからの秋田県の自殺対策を語る新春フォーラム	H26.1.18(土)	協働社大町ビル	13:00～15:30	100

(3) 予防事業の推進

ア 市町村モデル事業の推進状況（3年のモデル事業実施）

時期	区分	H13	H14	H15	H16	H17	H18
県内市町村数		69	69	69	69	68	25
事業実施市町村数		2	4	6	4	3	3
事業未着手市町村数（残数）		67	65	63	63	62	20
第Ⅰ期	モデル市町村	合川町	合川町	合川町			
		中仙町	中仙町	中仙町			
		藤里町	藤里町	藤里町			
		東由利町	東由利町	東由利町			
		千畑町	千畑町	美郷町			
		大森町	大森町	大森町			
第Ⅱ期	都市型（市）					能代市	能代市
							鹿角市
	合併市型（第Ⅰ期実施市町村との合併型）						北秋田市
	町村型（第Ⅰ期で未実施町村）						0

イ 市町村実践事業の推進（平成19年度～）

市町村モデル事業の成果を踏まえ、合併市を含めた県内全市町村への事業拡大促進を図るために事業メニューを例示し補助事業を実施した（補助期間：3ヶ年度以内）。

（平成19年度補助対象市町村）

・当初予算 8市町

鹿角市、能代市、北秋田市、にかほ市、仙北市、横手市、五城目町、羽後町

※能代市は、秋田大学の協力により厚労省科研費で事業実施することとなったため県補助は受給せず。

・補正予算 10市町村

大館市、上小阿仁村、八峰町、三種町、秋田市、男鹿市、潟上市、大潟村、大仙市、湯沢市
（平成20年度補助対象市町村） 20市町村

小坂町、大館市、上小阿仁村、八峰町、三種町、秋田市、男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村、由利本荘市、にかほ市、仙北市、横手市、湯沢市、羽後町、東成瀬村
（平成21年度補助対象市町村） 20市町村 ※全て前年度からの継続

小坂町、大館市、上小阿仁村、八峰町、三種町、秋田市、男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村、由利本荘市、にかほ市、仙北市、横手市、湯沢市、羽後町、東成瀬村
（平成22年度補助対象市町村） 3市町村

小坂町、八郎潟町、由利本荘市

※平成22年度で全市町村補助期間満了

ウ 地域自殺対策緊急強化事業費補助金（平成21年度～）

自殺対策の緊急的強化を目的として、市町村や民間団体への補助事業を補正予算により措置した。

（平成21年度補助対象市町村） 25市町村 ※県内の全市町村に補助

- (平成21年度補助対象民間団体) 1団体 ※(社)日本産業カウンセラー協会東北支部
- (平成22年度補助対象市町村) 25市町村 ※県内の全市町村に補助
- (平成22年度補助対象民間団体) 8団体 ※(社)日本産業カウンセラー協会東北支部、NPO法人秋田いのちの電話、NPO法人蜘蛛の糸、秋田こころのネットワーク、NPO法人秋田県心の健康福祉会、性と人権ネットワークESTO、心といのちを考える会、秋田大学
- (平成23年度補助対象市町村) 25市町村 ※県内の全市町村に補助
- (平成23年度補助対象民間団体) 10団体 ※(社)日本産業カウンセラー協会東北支部、NPO法人秋田いのちの電話、NPO法人蜘蛛の糸、秋田こころのネットワーク、NPO法人秋田県心の健康福祉会、性と人権ネットワークESTO、心といのちを考える会、秋田大学、秋田なまはげの会、秋田魁新報社
- (平成24年度補助対象市町村) 25市町村 ※県内の全市町村に補助
- (平成24年度補助対象民間団体) 10団体 ※(社)日本産業カウンセラー協会東北支部、NPO法人秋田いのちの電話、NPO法人蜘蛛の糸、秋田こころのネットワーク、NPO法人秋田県心の健康福祉会、性と人権ネットワークESTO、心といのちを考える会、秋田大学、秋田なまはげの会、秋田魁新報社
- (平成25年度補助対象市町村) 25市町村 ※県内の全市町村に補助
- (平成25年度補助対象民間団体) 11団体 ※(社)日本産業カウンセラー協会東北支部、NPO法人秋田いのちの電話、NPO法人蜘蛛の糸、秋田こころのネットワーク、性と人権ネットワークESTO、心といのちを考える会、秋田大学、秋田なまはげの会、秋田魁新報社、第37回日本自殺予防学会総会、ひだまり

(4) うつ病対策

ア) うつ病の早期発見、治療のための一般科医に対する研修の実施(秋田県医師会への委託研修)

研修実施状況

年 度	実 施 内 容	
15	回 数	3回 115人
	内 容	① 薬物によってうつ病・うつ状態が引き起こされる ② 身体疾患によってうつ病・うつ状態が引き起こされる ③ 身体医学と精神医学を結ぶ・リエゾン精神医学
	備 考	ポケットサイズのリーフレット作成
16	回 数	3回 166人
	内 容	① 「うつ」とcomorbidity(併存・併病)について ② うつ病・うつ状態の治療、症例を通して ③ 自殺予防について
	備 考	「うつ病と自殺予防」ポケットサイズのリーフレット作成
17	回 数	4回 500人
	内 容	鹿角市、秋田市、大仙市、湯沢市において、それぞれ別のテーマで、うつ病の予防・治療等についての研修会を開催する
	備 考	「うつ病と自殺予防」ポケットサイズのリーフレット作成
18	回 数	2回 120人
	内 容	秋田市、大仙市において、医師及び看護師を対象にロールプレイにより、うつ病に対する対応についての実践研修会を実施
	備 考	「うつの人への上手な接し方」冊子作成
19	回 数	3回 111人
	内 容	秋田市、能代市、横手市において、医師及び看護師を対象にロールプレイにより、うつ病に対する対応についての実践研修会を実施

年 度	実 施 内 容	
20	回 数	2回 134人
	内 容	秋田市、大館市において、医師及び看護師を対象にロールプレイ等により、うつ病に対する対応についての実践研修会を実施するとともに、県民向けのうつ啓発リーフレットを作成
21	回 数	3回 44人
	内 容	秋田市（2回）、湯沢市において、医師及び看護師を対象にロールプレイにより、うつ病に対する対応についての実践研修会を実施
22	回 数	3回 126人
	内 容	大館市、秋田市、横手市において、医師及び看護師等を対象に事例を通じてうつ病患者の治療を実践的に学ぶ研修会を実施
23	回 数	3回 40人
	内 容	能代市、秋田市、大仙市において、医師及び看護師等を対象に演習を通じたうつ病患者の治療を実践的に学ぶ研修会を実施
24	回 数	3回 100人
	内 容	能代市、秋田市、横手市において、医師及び看護師等を対象に演習を通じたうつ病への対応能力の向上を図る研修会を実施
25	回 数	3回 84人
	内 容	大館市、秋田市、大仙市において、医師及び看護師等を対象に演習を通じたうつ病への対応能力の向上を図る研修会を実施

イ) うつ病に対する医療等の支援対策強化事業の実施（秋田県医師会への委託）

- ・ 認知療法・認知行動療法研修会の開催 1回
秋田市において、認知療法・認知行動療法の専門家を講師とした研修会を開催
対象：医師、看護師、保健師、精神保健福祉士等 参加 39名
- ・ うつ病相談対応研修会の実施（秋田県医師会への委託）
秋田市において、精神科医師を講師とした研修会を開催
対象：ふきのとうホットライン相談機関の相談員、民生児童委員等 参加34名

(10) 平成25年度心の健康づくり・自殺予防対策事業（その他事業・福祉環境部）

NO	所属	事業内容
1	大館	<p>●「自殺予防対策担当者連絡会議」2回 第一回：H25-6-28(7名)意見交換「地域における心のセーフティネット会議について」「高齢者小委員会の開催について」「自殺未遂者支援対策事業について」「H25年度事業の連携について」 第二回：H26-2-6(7名)意見交換「H26年度事業の連携について」</p> <p>●「高齢者対策小委員会」 H26-2-6(9名)「今後の支援体制について」</p> <p>○「傾聴ボランティア交流会」北秋田保健所と共催 H25-11-7(29名) ・講演「傾聴活動について～事例をまじえて～」 講師 産業カウンセラー、心理相談員 佐藤 真美 氏 ・活動紹介「県北地区における傾聴ボランティア活動の取組について」北秋田市、鹿角市、小坂町 ・グループワーク「傾聴～これから目指したい活動～」</p> <p>○「ゲートキーパー養成研修」 H25-9-9(秋田県理容組合生活衛生同業組合鹿角支部組合員57名)「ゲートキーパー講習」 H25-10-8(傾聴ボランティア等25名)出前講座「秋田県における自殺対策について～私たちにできること～」 H25-12-2(秋田県美容組合生活衛生同業組合大館支部・鹿角支部組合員78名)「ゲートキーパー講習」</p>
2	鷹巣阿仁	<p>△北秋田市健康・スポーツフェスタH25-10-5 心の健康キャンペーンの実施 約150名</p> <p>●北秋田市心の健康づくり・自殺予防ネットワーク会議への出席 H25-6-28 北秋田市こころの健康づくりネットワーク設置概要、北秋田市の統計、市・各機関の取り組み状況の紹介、平成25年度事業説明、キャラクターの活用依頼</p>
3	山本	<p>◆心の健康づくり・自殺予防・精神保健福祉対策担当者情報交換会 H26-3-6(市町保健師 3名、福祉環境部保健師 4名) 各機関の取り組みの紹介と、課題、悩み等について情報交換</p>
4	秋田	<p>【秋田地域振興局重点事業】 ○「メンタルヘルスサポーター養成セミナー」開催 H25-7月～8月(年1回・3回シリーズ)参加者 延べ70名 認定書交付23名</p> <p>○「心の健康づくりフォローアップ研修会」開催(1回) H26-2-21(47人) テーマ：自殺者ゼロの地域をめざして～ひとりの命もなくさないために～ 講師：秋田大学 佐々木久長氏</p> <p>○メンタルヘルスサポーターと高齢者支援組織の情報交換会の開催 1回 ・活動紹介：「五城目町ゲートキーパーによる取り組み」 ・交流会：「心と体のこりをほぐしましょう」 講師：秋田県総合保健事業団 健康運動指導士・ヘルストレーナー 小野寺拓也氏</p> <p>●「メンタルヘルスサポーター地域懇談会の開催 4回</p> <p>△「こころはればれ通信」発行 年4回 8,200部/1回</p>
5	由利	<p>◆にかほ市自殺予防ネットワーク会議への出席(年3回) △地域健康づくり情報発信事業において、うつ病に関する普及啓発活動 対象 管内全事業所 内容 リーフレットを2万部作成し、配布「眠りとうつ病の関係について」</p>
6	仙北	<p>◆管内自殺予防関連事業への支援 ①大仙市介護予防サポーター「介護いきいき隊」養成講座 「高齢期のうつの理解と対応のポイント」保健所職員講話(H24-5-8) ②大仙市自殺予防ネットワーク推進協議会への出席(H25-6-25、H26-3-28) ③大仙市自殺予防ネットワーク推進協議会分科会への出席(H26-1-10)</p>
7	平鹿	<p>△かまくらFM(ラジオ放送)H25-9月「自殺予防週間について」 H26-3月「秋田県のいのちの日」について</p>
8	雄勝	<p>●市町村自殺予防対策事業担当者連絡会 1回(H26-3-17 7人) ○東成瀬村のぞみの会主催「いのちを考える集い」打合せへ出席(1回)</p>
9	精神保健福祉センター	<p>○行政・医療従事者等支援者向けアルコール関連問題研修会(平成25年度アルコール関連問題研修会) 日時：H25-11-25(月)13:00～16:00 会場：カレッジプラザ 講堂 参加者：110名(他職員5名) 内容： ・講演「効果的な介入のための支援の在り方」 講師：さいたま市保健福祉局保健部 こころの健康センター 所長 岡崎 直人 氏</p>

●会議 ○研修、講座、シンポジウム、フォーラム等 △広報啓発 ◆その他の取り組み

(5) 平成25年度ネットワーク事業実施状況 (福祉環境部)

NO	所属	ネット設立 月日	ネット 機関 数	ネットワーク事業内容
1	大館	H16.10.22	26	<p>●「心のセーフティネット会議」2回開催 第一回:H25-7-4(21名)「高齢者対策について」「自殺未遂者対策について」「自殺予防対策関係事業の連携について」 第二回:H26-2-13(16名)「大館・鹿角地域における心の健康づくり・自殺予防事業について」</p> <p>△「街頭キャンペーン」3回実施 ①H25-9-13いとく大館ショッピングセンター ②H25-11-29小坂町交流センター ③H26-3-2いとく鹿角ショッピングセンターとユニバース毛馬内店</p> <p>△「連動キャンペーン」2回実施 キャンペーン期間中に関係機関窓口(26機関)で啓発用品を配布、相談窓口紹介</p> <p>△「健康づくりイベント会場での啓発」2回 ①H25-9-15かづの元気フェスタ ②H25-9-29大館市ボランティアフェスティバル</p>
2	鷹巣阿仁	H17.12.12	1	<p>●H25-7-18 ネットワーク会議開催 委員24名中18名参加 行政説明および質疑応答「秋田県の自殺の状況と地域の課題について」講師県健康推進課 調整・自殺対策班 主幹兼班長 館岡 美智義 2回目は開催せず、情報・意見を提出してもらいネットワーク通信で委員あて情報提供。</p> <p>○傾聴ボランティア交流会 大館福祉環境部と共催 H25-11-7 北部老人福祉総合エリア 29名参加 講演「傾聴活動について～事例をまじえて～」産業カウンセラー 心理相談員 佐藤 真美 氏 活動紹介「県北地区における傾聴ボランティア活動の取り組みについて」グループワーク「傾聴～これから目指したい活動」</p> <p>△自殺予防キャンペーン3回実施 ①9/10 いとく鷹巣ショッピングセンター、道の駅かみこあに ②11/20、11/22、11/29、12/6、12/19 各機関自殺対策研修会、精神保健福祉協会・結核予防婦人会等会議において ③3/23上小阿仁村生涯学習センター(高齢者の自殺予防普及啓発事業わらび座生き生きシアター)</p> <p>△ネットワーク通信の発行H25-2-26 発行</p>
3	山本	H17.9.1		<p>●しらかみふれあいネットワーク会議の開催 2回 第1回:H25-7-12(34名) ・資料説明「管内の年代別・男女別状況」福祉環境部 高島 ・講演「高齢者の心の健康～自殺予防の観点から～」秋田大学大学院医学系研究科 公衆衛生学講座 助教 藤田幸司氏 ・情報交換 グループワーク テーマ:高齢者の自殺を防ぐために ・協議 平成25年度のしらかみふれあいネット事業について 第2回:H26-3-6(28名) ・情報提供「管内の状況について」福祉環境部 高島 ・講演「自死対策について思うことーこれまで、そしてこれからー」柴田寛彦氏 ・情報交換 テーマ:「私たちの自殺予防活動について」</p> <p>○しらかみふれあいネット学習会 H25-11-5(23名) ・講義、グループワーク テーマ:「みんなで支え合いませんか?」講師:秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻 准教授 佐々木久長氏</p> <p>△しらかみふれあいネット通信(12月、3月発行) その他FAX通信にて、ネット関係機関主催の研修会等について周知</p> <p>△自殺予防キャンペーン 6回 ①H25-9-7 能代市健康展で実施 ②H25-9-28 三種町心のあたたかさ命のすばらしさを考えるフォーラムで実施 ③H25-11-26 藤里町心といのちを考える会主催フォーラムで実施 ④H25-10-26 八峰町自殺予防フォーラムで実施 ⑤H25-11-29 いのちの日キャンペーンを実施 ⑥H26-2-28秋田県いのちの日キャンペーンを実施 ①～④については、ネット構成機関である傾聴ボランティア等と一緒に実施</p>
4	秋田	H17.10.4	23	<p>●心の健康づくり・自殺予防ネットワーク推進会議の開催 H26-1-29(19名) 情報提供・各市町村の事業紹介 協議「自殺予防対策の今後のあり方を考える」</p> <p>△自殺予防街頭キャンペーン ①H25-9-14 男鹿市 ②H25-11-29 潟上市 ③H26-2-28 井川町 メンタルヘルスサポーターと合同実施</p> <p>○市町村事業等への支援 講話等4回</p>

NO	所属	ネット設立 月日	ネット 機関 数	ネットワーク事業内容
5	由利	H17.9.21	26	<p>●ネットワーク会議の開催 2回 第1回:H25-8-8(20名) ・協議内容 H25年度事業計画についての協議、各機関の取り組み等の情報交換 第2回:H26-2-10(29名) ・協議内容 各機関のH25年度事業報告、学習会「高齢期のこころの相談への対応の仕方」 講師:秋田大学教育文化学部准教授 北島 正人 氏</p> <p>○「精神保健・自殺予防研修会」の開催 H25-10-24 本荘グランドホテル 93人 ①講演「やさしい地域になるために」 秋田ふきのとう県民運動実行委員会会長 袴田 俊英 氏 ②実技「こころをリラックスさせる軽運動」マスター中高老年期運動指導士 坂本 裕子 氏 ③フロア展示 障害者自立支援センター和、地域活動支援センター根分け会</p> <p>○構成機関主催事業への講師派遣・出前講座 ①H25-5-10「ストレスと心の健康について」 保健所保健師 対象:新規採用消防職員 95人 ②H25-6-12「由利本荘地域の自殺を考える」保健所保健師 対象:ボランティア育成講座受講者 15人 ③H25-6-14「働きざかりのメンタルヘルス」保健所保健師 対象:建設業関係事業者 55人</p> <p>▲自殺予防街頭キャンペーン 3回 6会場 ①H25-9-10、11 ②H25-11-29、12-4 ③H26-3-4、5</p>
6	仙北	H17.11.11		<p>●ネットワーク推進会議の開催 2回 第1回:H25-8-8(29名) ①説明:「秋田県における自殺の現状について」 「平成25年度自殺予防対策関連事業計画について」 ②情報交換:平成25年度心の健康づくり・自殺予防対策の取り組みについて 第2回:H26-3-11(22名) ①情報提供「秋田県における自殺者の状況について」 ②情報交換「平成25年度心の健康づくり・自殺予防対策の取組状況」 「自殺未遂者支援リーフレットの活用について」</p> <p>△街頭キャンペーンの実施 3回 ①H25-9-10 場所:イオンモール大曲、マックスバリュ刈和野店 参加者:33名 ②H25-11-29 場所:JR東日本大曲駅 参加者:13名 ③H26-2-28 場所:イーストモール 参加者:5名</p>
7	平鹿	H17.8.4		<p>●ネットワーク会議の開催 2回 第1回:H-25-7-17(26名) ・報告 秋田県・管内の自殺の状況、昨年度の事業実施状況、今年度の事業実施計画 ・協議・情報交換 各機関の事業内容、中高年者の自殺予防対策 第2回:H-26-2-26(30名) ・報告 秋田県・管内の自殺者の状況 ・協議・情報交換 今年度の事業実施状況、中高年者の自殺予防対策、 自殺未遂者支援の連携体制について</p> <p>○ネットワーク研修会 H25-12-16 (32名) ・講演「自死遺族支援の基本的対応について」 講師 協和病院 精神保健福祉士 藤井 富士子 氏</p> <p>△街頭キャンペーン 3回 ①H-25-9-5 道の駅十文字 参加者19名 ②H-25-12-1 イオン横手店 参加者14名 ③H-26-3-2 イオンスーパーセンター横手南店 参加者15名</p>
8	雄勝	H16.11.16		<p>●ネットワーク会議の開催 1回 第1回:H25-12-18(29名) ・報告「自殺の現状について」、「今年度のネットワーク機関の取り組みについて」 ・協議「管内の自殺未遂者支援の取り組みについて」</p> <p>○雄湯郷ふれあいネット関係者研修会の開催 1回 H25-12-18 参加者92人 ・講演「自殺未遂者対策の必要性和対応について」 精神保健福祉センター 所長 伏見雅人 氏</p> <p>○傾聴ボランティアフォローアップ研修会の開催(精神保健福祉研修会と合同開催) 1回(H25-11-22) 43人 ・講話と実技「音楽療法の実践について」 日本音楽療法学会認定音楽療法士 日沼郁子 氏 ・講話「ストレスモデルの活用について～松風での実践を通して～」 障害者総合支援事業所 松風 支援専門員 橋本洋子 氏、川田ルミ子 氏</p> <p>△自殺予防キャンペーン 4回(リーフレット、ティッシュ等配布 合計6,400部) ※ネット機関による「連動キャンペーン」は3回開催(9月、12月、3月) 第1回(H25-7-7)「湯沢市ふれあい広場」参加機関(3機関参加) 第2回(H25-9-10)「街頭キャンペーン(イオンスーパーセンター湯沢店)」(6機関 19人参加) 第3回(H24-11-27)「街頭キャンペーン(ビブレ湯沢店)」(6機関 12人参加) 第4回(H25-3-16)「街頭キャンペーン東成瀬村地域交流センターゆるるん」</p> <p>◆ネットワーク機関向け「雄湯郷ふれあいネット通信」の発行 年2回(H25-11月、H26-1月) ◆窓口相談ファイルの活用 △湯沢雄勝地区「雄湯郷ふれあいネット サロン・相談機関マップ」の作成(追加機関情報)及び配布</p>

●会議 ○研修、講座、シンポジウム、フォーラム等 △広報啓発 ◆その他の取り組み

(6) 平成25年度うつ対策事業（福祉環境部）

NO	所属	事業内容
1	平鹿	○一般公開講座 1回 H25-10-25 (63名) ・講演「高齢者のうつ病と認知症の理解」 講師 稲庭クリニック 院長 菅原 純哉 氏
2	雄勝	○うつに関する講座の開催 1回 H26-1-27 (103名) ・講演「健やかに生きる～自殺予防と地域づくり」 秋田ふきのとう県民運動実行委員会会長 袴田俊英 氏 ・「大人の読み聞かせ～心がゆったりするひとときを～」お話しタイム

●会議 ○研修、講座、シンポジウム、フォーラム等 △広報啓発 ◆その他の取り組み

(7) 平成25年度職域メンタルヘルス研修事業実績（福祉環境部）

NO	所属	事業内容
1	由利	H25-5-10 ・講話：働きざかりのメンタルヘルスについて 対象：建設業関係事業者 55人
2	仙北	○「職場におけるメンタルヘルスセミナー」 H25-10-29(146名) 会場：仙北ふれあい文化センター 対象：管内事業所職員 内容：①説明「健康管理について」 大曲労働基準監督署 衛生専門官 千葉知幸 氏 ②講演「職場のコミュニケーションとメンタルヘルス～人付き合いのコツ～」 講師：秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻 准教授 佐々木久長 氏 ③実技「心と体のセルフメンテナンス」 講師：日本フットセラピスト協会 マスターインストラクター 渡辺ユミ子 氏

●会議 ○研修、講座、シンポジウム、フォーラム等 △広報啓発 ◆その他の取り組み

(8) 平成25年度自死遺族支援事業実績（福祉環境部）

NO	所属	事業内容
1	由利	◆自死遺族相談(面談) 毎月第1、3火曜日開催(要予約) 問合せ 3件 相談者なし
2	由利	◆自死遺族の悲嘆を分かち合う集い「アイビーの会」 開催日：3回(5月、7月、11月 第2金曜日 13:30～15:00) 会場：由利本荘保健所 2階会議室 参加者：延べ1人 ○遺族支援に関する研修参加
3	由利	◆「あきたいのちのケアセンター」による自死遺族等相談事業 ・電話相談：平日9:00～16:00 土日祝日10:00～16:00(年末年始を除く毎日) H25-4月～H26-3月までの相談件数(集計中) ・来所相談：なし ○出前講座5回(横手市3回・湯沢市1回・能代市1回)

●会議 ○研修、講座、シンポジウム、フォーラム等 △広報啓発 ◆その他の取り組み

(9) 平成25年度自殺未遂者支援事業

NO	所属	事業内容
1	大館	<p>●自殺未遂者支援関係者会議 ①H25-8-5(管内関係者23名)「地域における自殺未遂者支援体制のあり方」 ②H25-12-18(鹿角地区14名)「大館保健所自殺未遂者支援体制について」 ③H26-1-17(大館地区15名)「大館保健所自殺未遂者支援体制について」</p> <p>○自殺未遂者支援研修会 H25-8-5(134名)・講演「自殺未遂者ケア:理解と実践」 講師 横浜市立大学医学群健康増進科学 教授 河西 千秋 氏</p>
2	鷹巣阿仁	<p>○自殺未遂者支援研修会 H25-12-6 参加者44名 ・講演「救える命～自殺未遂者への対応～」秋田大学大学院医学系研究科 救急・集中治療医学講座 准教授 中永 士師明 氏</p> <p>○●自殺未遂者支援関係者研修・検討会議 参加者29名 ・講演「自殺未遂者にどう対応するか」青森県立精神保健福祉センター 所長 田中 治 氏 ・行政説明「北秋田管内自殺未遂者対策事業について」参加者意見交換</p> <p>△北秋田市民病院、北秋田市消防本部へ自殺未遂者支援事業説明</p>
3	山本	<p>●自殺未遂者支援対策関係者会議 1回 H25-12-2(19名) ・協議 これまでの協議内容についての振り返り 今後の進め方 能代山本地域の相談機関紹介パンフレットの作成 各機関の担当者の確認と連絡先名簿の作成(関係者用) ・講話「自殺未遂者のアセスメントについて」秋田県精神保健福祉センター所長 伏見雅人</p> <p>○自殺未遂者支援対策関係者研修会 H25-12-19(72名) ・講演とロールプレイ「自殺未遂者支援の心理と対応方法について」 秋田赤十字病院精神科部長 橋本誠氏</p>
4	秋田	<p>○自殺未遂者支援研修会の開催 H25-11-26(60名) ホテルサンルーラル大湯 ・講話 テーマ:「自殺予防と未遂者支援 ～なぜ、未遂者支援が必要なのか～」 講 師:秋田県精神保健福祉センター所長 伏見雅人氏 ・講話 テーマ:「自殺未遂者ケアの実践と課題 ～救急医療の現場から～」 講 師:関西医科大学附属滝井病院 神経精神科 精神保健福祉士 山田妃沙子 氏</p> <p>●秋田地域自殺未遂者支援関係者会議 H25-12-25(23名) 当部会議室 ・情報提供:「自殺未遂者支援の必要性和ポイントについて」 秋田県精神保健福祉センター所長 伏見雅人氏 ・協議:「自殺未遂者に対する支援について」</p>
5	由利	<p>●自殺未遂者支援関係者会議の開催 第1回 H25-10-10(23名) ・情報提供:「自殺未遂者実態調査」健康推進課 主幹 猿橋留美子 氏 「管内の自殺企図者の状況について」由利本荘市消防本部、にかほ市消防本部 ・講話「自殺未遂者支援対策の必要性について」精神保健福祉センター所長 伏見雅人 氏 ・協議①管内の自殺未遂者支援について ②地域版リーフレットの作成について</p> <p>第2回 H25-12-26(29名) ・協議①自殺未遂者相談支援事業実施要領(素案)について ②地域版リーフレットについて</p> <p>○自殺未遂者支援関係者研修会の開催 1回 H25-12-26(57名) ・講演「自殺未遂者ケア:自殺に傾く人の理解と対応」横浜市立大学医学群健康増進科学 教授 河西 千秋 氏</p>
6	仙北	<p>●自殺未遂者支援関係者会議(ネットワーク推進会議と同時開催) 1回 H25-8-8(29名) ①説明:「秋田県における自殺の現状について」 「平成25年度自殺予防対策関連事業計画について」 ②情報交換:平成25年度心の健康づくり・自殺予防対策の取り組みについて ③事例紹介</p> <p>○自殺未遂者支援研修会 1回 H25-12-25(39名) 会場:大曲中央公民館 対象:ネットワーク推進会議関係者、傾聴ボランティア等 内容:講話「自殺未遂者対策の必要性和その対応について」 講師 メンタルクリニック秋田駅前 院長 稲村茂 氏</p> <p>◆未遂者支援リーフレットの配布 管内救急病院(3)、病院(5)、ネットワーク推進会議関係団体(24) 医師会学習会(H26-2-28)参加者</p>
7	平鹿	<p>●自殺未遂者支援会議の開催 2回 第1回:H25-8-21(22名) ・講演「自殺未遂者支援対策の必要性について」 講師 精神保健福祉センター 所長 伏見 雅人 氏 ・情報提供同意書、管内の連携体制について検討、事例検討</p> <p>第2回:H26-1-21(16名) 県内の自殺未遂者支援対策(秋田市、大仙市)について 相談申込書(案)、配布先の検討</p> <p>○自殺未遂者支援研修会 H25-11-22(36名) ・講演「自殺未遂者の現状と支援のあり方」～関係機関で連携できること～ 講師 市立秋田総合病院 精神科医長 内藤 信吾 氏</p>
8	雄勝	<p>●自殺未遂者支援関係者会議 2回 1回目:H25-7-22(16名) ・情報提供 「秋田県自殺未遂者実態調査結果について」福祉環境部 担当者 ・協議 「各機関での未遂者対応の現状と必要な取り組みについて」</p> <p>2回目:H25-11-6(16名) ・事業紹介 「大仙市の未遂者対策について」大仙市 担当者 ・協議 「未遂者への窓口リーフレット・情報提供同意書の内容と配布方法について」</p>

●会議 ○研修、講座、シンポジウム、フォーラム等 △広報啓発 ◆その他の取り組み

5 生活習慣病予防推進事業

生活習慣病を予防し、生活習慣病による死亡率の低減を図るため、栄養、食生活、運動、禁煙等の普及活動、健康教育、研修等を総合的に実施する。

(1) あきた減塩推進事業

1) 新たな目標の実現に向けた県民運動の推進

①「あきた減塩意識革命」応援実行委員会の開催

「1日1gの減塩」を新たな行動目標とし、減塩運動を推進する実行委員会。

委員構成：県包括協定企業6社、秋田県消費者協会、秋田県味噌醤油工業協同組合、(公社)秋田県栄養士会、(社)秋田県調理師会、聖霊女子短期大学教授、大仙市栄養士

第1回 平成26年1月30日 参集委員10名

- ・平成25年度事業の状況について
- ・情報提供：日本人の長寿を支える「健康な食事」のあり方に関する検討会（厚生労働省主催）について
- ・協議：県民に減塩行動を起こしてもらうための考え方や取組等について

②減塩意識向上のための啓発

県民の減塩と野菜摂取に取り組む気運を高めることを目的に広報した。

ア) 減塩標語

募 集：中・高校生を対象に6～7月に募集

応募数：中学生595作品（16校）、高校生982作品（12校）計1,577作品

審査会：平成25年7月31日（水）

表彰式：平成25年11月17日（日）、「減塩でもおいしいコンテスト」会場（イオン秋田セントラルコート）

入 賞：学校賞（大仙市立大曲中学校、秋田市立秋田商業高等学校）

中学生・高校生 最優秀賞各1名、優秀賞各2名、入賞各2名

<最優秀賞>

「減塩は 命を守る 健康法」大仙市立大曲中学校 佐々木涼冴さん

「素材の味 生かして減塩 健康生活」秋田県立能代松陽高校 見上絢海さん

活 用：最優秀賞2作品を掲載したポケットティッシュ（各10,000個）を作成。

イ) 広報（チラシ等作成）

企画提案競技審査会：平成25年10月11日（金）

作成数：ポスター（A2版）1,000枚、リーフレット20,000部（A4版・両面）、のぼり100枚作成。

配 布：平成26年2月より市町村、公民館、スーパー、コンビニエンスストア等に配布、掲示。

ウ) キャンペーン

各地域振興局福祉環境部で減塩キャンペーンを実施。

ポケットティッシュ（減塩標語・食塩摂取簡易計算プログラムのサイトのQRコード入り）や減塩チラシの配布等。

③「減塩は不味い」という先入観払拭のための啓発

「減塩＝不味い」イメージを払拭するためのレシピコンテストの開催・広報

ア) 減塩でもおいしいコンテストの実施

募 集：平成25年8月下旬～9月

募集要件：汁物又はシチュー類で1人分の塩分が汁物は1g以下、シチュー類は1.5g以下であること。

応募数：47作品（汁物類35作品、シチュー類15作品）

一次審査：平成25年10月22日（水）

二次審査：平成25年11月17日（日）、イオン秋田セントラルコートで審査員5名と一般来場者100名の投票により決定

入賞：最優秀賞1名、優秀賞1名、入賞3名

<最優秀賞>

「あんべいいな！野菜たっぷりトマトスープ」秋田県立大曲工業高等学校4名
活用：入賞した5作品をリーフレット（A5版観音折り）10,000部作成し、食生活改善推進協議会、市町村等に配布に約5,000部配布。

④食塩摂取簡易計算プログラムによる啓発

H24年度に作成した食塩摂取量簡易計算プログラムを活用し、栄養士会委託事業や地域振興局事業等で一般県民の食塩摂取量を計算し、意識づけを行った。

ア) ウェブページでの利用者：1,469人、栄養士会：7回161人、地域振興局福祉環境部：6回208人

⑤幼児期からの味覚形成

幼児期からうすあじにならし、塩分を控えることの大切さを教えるとともに、保護者へもお便り等を通じて普及した。

ア) 保育園・幼稚園でのうすあじ教室

開催日 平成25年7月～平成26年2月

参加者 県内32園 園児1,371人 保護者等798人

内容 塩分クイズ・紙芝居、0.6～0.8%みそ汁の試飲、保護者用お便りの配布

(2) 二次・三次産業との連携及びライフステージに応じた減塩アプローチ

①高校生レシピコンクールの開催と商品化による減塩環境整備

高校生から減塩・野菜摂取等をテーマにした献立を募集し、入賞作品の商品化等で県民の減塩意識を高めた。

ア) 「おいしく減塩・野菜もとれるワンプレートメニューレシピコンクール」の開催（栄養士会委託）

後援企業：（株）ローソン、（株）サークルKサンクス、（株）伊徳
（株）タカヤナギ、イオンリテール（株）、（株）ファミリーマート
（株）セブン・イレブン・ジャパン

応募数：自由部門86作品、発酵食品部門12作品

審査会：1次審査会 平成25年11月13日 書類審査

2次審査会 平成25年12月7日 調理・試食・プレゼンテーション

審査結果：最優秀賞1点「ミルクで減塩、カル（Ca）カリ（K）プレート」
能代高校1年 金野明帆さん

優秀賞2作品、特別賞7作品

イ) 平成24年度高校生レシピコンクール入賞作品の商品化及び販売

商品化検討会

開催日：平成25年5月

場所：増田ふれあいプラザ、能代市働く婦人の家

参加者：レシピ考案高校生、指導教員、企業3社

知事との試食会：

開催日：平成25年7月3日 秋田県議会棟特別会議室

参加者：レシピ考案高校生、指導教員、知事、県教育長、（公社）秋田県栄養士会長、健康福祉部長、商品化予定企業4社代表

販売時期：平成25年7月に販売

商品化されたレシピと企業一覧

番号	商品名 (入賞レシピ名)	商品化社名
1	あさり入りにら玉井 (野菜たっぷり!あさり入りにら玉井)	(株)ローソン
2	おからだ気をつけて丼~味噌仕立て~ (おからだ気を付けて丼)	(株)伊徳と(株)タカヤナギ の共同商品化
3	びっくり豆腐ハンバーグ丼 (びっくりハンバーグ丼)	(株)伊徳と(株)タカヤナギ の共同商品化
4	野菜たっぷりあさり入り菰玉井 (野菜たっぷり!あさり入りにら玉井)	イオンリテール(株)

②消費者が減塩商品を選択できる環境の整備

飲食店のメニューに対する食塩量表示等の働きかけ

食の健康づくり応援店訪問： 145店舗

③出前講座による普及（一部秋田県栄養士会（緊急雇用事業）に委託）

働き盛りへの出前講座：25回 参加者882人

小中高校への出前講座：小学校3回、中学校5回、高等学校14回 参加者1,024人

保育園・幼稚園でのうすあじ教室：32回 参加者数 園児1,371人、保護者798人

④食生活改善推進員等の地域リーダー育成研修及び県内各地における普及啓発活動
ア 減塩推進研修会の開催

減塩の県民運動の気運を高めるため、地域で食生活改善活動に従事するリーダー等に対し、減塩と野菜摂取に関する研修を実施し、地域の特性に応じた普及活動を行った。

福祉環境部	実施年月日(場所)	内 容	参加者数(人)
大 館	①平成25年8月30日 (北部老人福祉総合エリア) 対象：大館鹿角地域食生活改善推進協議会 会員及び市町担当者	調理実習「減塩及び野菜摂取のための調理テクニック」 講師 管理栄養士 和田喜美子氏 演習及び意見交換「イベントで活用できるツールの検討」	25
	②平成25年9月10日 (北部老人福祉総合エリア) 対象：大館鹿角地域食生活改善推進協議会会員及び市町担当者	情報提供「秋田県民の食生活指針について」 健康・予防班 主幹 兔澤真澄 講演「発酵食品と減塩」 総合食品研究センター上席研究員渡辺隆幸氏 意見交換「イベント用啓発グッズの検討」	41
鷹 巣 阿 仁	①平成25年9月3日 (森吉保健センター) 対象：管内食生活改善推進協議会会員	①調理実習「減塩の調理テクニック」 講師 大館調理師専門学校 校長(管理栄養士) 布袋屋幸穂氏 食塩摂取量計算プログラムの使用方法 ③減塩クイズについて	23
	②平成26年2月26日 (北秋田氏交流センター) 対象：管内食生活改善推進協議会会員	①講話「高血圧(サイレントキラー)の怖さ 合併症・塩分との関係」 講師 たむら内科クリニック 田村豊一氏 情報提供 県民の食生活実態について	31

福祉環境部	実施年月日(場所)	内 容	参加者数(人)
山 本	①平成25年9月5日 (八峰町峰浜地区文化交流センター「峰栄館」) 対象：八峰町老人クラブ連合会地区会長及び女性会員	○講演「適塩生活で健康長寿」 公益社団法人秋田県栄養士会 伊藤洋子氏 ○「調理の減塩ポイント～いつもの料理にひと工夫～」 食生活科学研究所 ○食べ比べ「いつもの唐揚げと減塩唐揚げ」 ○感想発表	71
	②平成25年10月29日 (能代市南部公民館) 対象：地域で活動する食育ボランティア等	○講演「減塩を主とした食育の実際」 公益社団法人秋田県栄養士会 減塩サポートチーム ○みそ汁の塩分濃度測定と食塩含量について ○情報提供「秋田県の食生活指針について」 ○師範調理・試食「天然だしを使っておいしく減塩する」 能代山本調理師会 ※併：調理師等食育推進者研修会	35
秋 田	①平成25年9月25日 (井川公民館) 対象：井川町食生活改善推進員・五城目町食生活改善推進員等	・演習「自分の味覚と塩分摂取量を知ろう」 (ソルセイブ、食塩摂取量診断プログラムを使用) ・実習「減塩・野菜の調理テクニック」 講師：野菜ソムリエ 鈴木美穂子 ・グループワーク 「塩分1人1日1グラム減!」に向けて	24
	②平成25年9月27日 (潟上市天王保健センター) 対象：潟上市食生活改善推進員・男鹿市食生活改善推進員等	・演習「自分の味覚と塩分摂取量を知ろう」 (ソルセイブ、食塩摂取量診断プログラムを使用) ・実習「減塩・野菜の調理テクニック」 講師：野菜ソムリエ 鈴木美穂子 ・グループワーク 「塩分1人1日1グラム減!」に向けて	40
	③平成25年10月23日 (五城目町保健センター) 対象：五城目町食生活改善推進員等	・演習「自分の味覚と塩分摂取量を知ろう」 (ソルセイブ、食塩摂取量診断プログラムを使用) ・実習「減塩・野菜の調理テクニック」 講師：野菜ソムリエ 鈴木美穂子 ・グループワーク 「塩分1人1日1グラム減!」に向けて	25
由 利	①平成25年9月26日 (由利本荘市内) 対象：本荘由利地区食生活改善推進員	・講演「生活習慣病予防について」 医師 ・減塩普及寸劇発表 劇団ゆりっ娘座	60

福祉環境部	実施年月日(場所)	内 容	参加者数(人)
仙 北	①平成25年6月28日 (美郷町公民館) 対象：管内食生活改善推進協議会会員	・食生活改善活動発表：大仙市、仙北市 ・講演「秋田県の食生活指針と減塩推進事業について」で 健康推進課担当者	150
	①平成25年10月31日～11月6日(仙北市生保内武道館前特設テント内) 対象：食生活改善推進協議会・調理師会会員、食育ボランティア、一般住民	・第136回秋田県種苗交換会における 減塩に関する普及啓発 (減塩メニューの試食・レシピの提供、みそ汁試飲・味覚クイズ、野菜計量クイズ等) ※大曲仙北食生活改善推進協議会・角館調理師会との合同開催	7,000
平 鹿	①平成25年7月22日 (横手保健センター) 対象：横手市食生活改善推進協議会	講義：減塩&野菜を食べよう～秋田県の現状と課題について」 平鹿福祉環境部担当者 グループ討議：「地域での普及方法について考えよう」	16
	②平成25年9月12日 (平鹿生涯学習センター) 対象：横手市食生活改善推進協議会	説明「第2期健康秋田21計画」について 秋田県健康福祉部健康推進課担当者 講演・実演「おいしい減塩のコツ～スパイスとだしをきかせた料理の工夫」 講師 野菜ソムリエ 佐藤 司氏	65
	③平成26年1月28日 (横手市交流センターY2プラザ) 対象：給食施設調理従事者、食生活改善推進員、一般住民	講演・実演試食「減塩でおいしく健康に～コンテスト優秀賞受賞料理の紹介～」 講師：平鹿総合病院栄養科技師長木村京子氏 展示「減塩クイズコーナー」、「生活習慣病予防に関する展示」、「コンテスト優秀作品の紹介・レシピの配布」	130
雄 勝	①平成25年10月24日 (湯沢市ふるさとふれあいセンター) 対象：調理従事者、食育ボランティア等	(調理師等食育推進者研修会と合同開催) ・講話と調理実習「プロがおしえる減塩のコツ」講師：湯沢調理師会 会長 高柳清治氏 ・改訂「秋田県民の食生活指針」についての説明等 担当：保健所管理栄養士	50
	①平成25年11月21日 (湯沢ロイヤルホテル) 対象：管内食生活改善推進員、一般住民等	(がん予防推進の集いと合同開催) ・講演「減塩の長所と短所を整理する」 講師：東京大学大学院医学系研究科教授 佐々木敏先生 ・減塩&野菜たっぷりレシピの紹介と試食 ・「塩分をひかえるための標語」&「野菜を多く食べるための標語」入選者発表及び表彰等	120
	計17回		7,906人

イ 福祉環境部における実践活動

福祉環境部	実施年月日(場所)	内 容
大館	①平成25年9月15日 (鹿角市交流センター) ②平成25年10月26日・27日 (大館樹海ドーム) ③平成25年10月29日 (小坂町交流センター セパ ーム)	①食塩摂取量計算プログラムを使用した指導 「減塩アイデア20」の紹介 フードモデルによる料理の塩分量展示 減塩に関するパネル展示 ②食塩摂取量計算プログラムを使用した指導 「減塩アイデア20」の紹介 ③食塩摂取量計算プログラムを使用した指導
鷹巣 阿仁	①平成25年10月5日 (北秋田市鷹巣体育館) ②平成25年10月19日・20日 (上小阿仁トレーニングセン ター)	①②減塩に関する展示と資料配付により啓発普及を 実施 ○展示：外食料理の塩分とエネルギー(フードモデ ル)、減塩とバランス(パネル)、野菜350g (フードモデル)、減塩アイデア20(パネル) ○資料配付：減塩関係リーフレット、小さじファミ リ、食生活指針、減塩レシピ等
山 本	平成26年2月28日 (いとく能代南店)	○リーフレット、啓発グッズの配布(300セット) ○食塩摂取量計算プログラムを使用した栄養相談(18 人)
秋田	平成25年11月2日～4日 (五城目町広域体育館)	・減塩に関するパネル展示とリーフレット配付 ・塩水を用いた味覚テストとアンケート ・減塩メニューの試食提供
由利	平成25年10月26日 (本荘保健センター)	・食塩摂取量簡易計算プログラムを使用した栄養相 談、栄養指導(一般住民51名)
仙北	平成25年10月31日～11月6日 (仙北市生保内武道館前特設テ ント内)	・第136回秋田県種苗交換会における普及啓発。 (減塩レシピ・グッズ・ティッシュ配布、減塩フードモデル・パ ネル展示、野菜計量クイズ他)
平鹿	平成26年1月2日～2月27日 (横手かまくらFM)	食生活改善推進員(減塩研修会受講者)による減塩 のすすめ方や野菜摂取方法の紹介。 地元コミュニティFMにおいて週1回放送。
雄勝	平成25年9月～平成26年2月 (がん予防出前講座の実施 施設)	がん予防出前講座の実施施設において、塩分控えめ 野菜たっぷり献立コンクール受賞作品の献立紹介と レシピの配布、改訂秋田県民の食生活指針の配布 等

ウ 実践活動への支援

福祉環境部	実施年月日 (支援地区)	内 容
大館	①平成25年9月15日 (鹿角市)	食生活改善推進員が減塩料理の試食提供ところにツ ールの検討・提供をした。
鷹巣 阿仁	①平成25年10月5日 (北秋田市)	市健康・スポーツフェスタ2013 ・減塩料理の試食、減塩に関する展示
山本	なし	

福祉環境部	実施年月日 (支援地区)	内 容
秋田	平成25年11月1日～3日 (五城目町広域体育館)	五城目産業祭 減塩推進のためのパネル展示、体験、試食等
由利	平成25年10月26日 (本荘保健センター)	本荘米まつり(食生活改善コーナー) キャンペーン「減塩&野菜を食べよう!」広告入り 野菜のタネ配布、パンフレット配布、パネル展示
仙北	平成25年8月2日 (大仙市)	タニタハウジングウェア(大仙市) ・職員健康講座:生活習慣病予防の講話を実施
平鹿	平成26年10月12日～14日 (横手市)	子育て応援フェスタ会場での減塩や野菜摂取に関する パネル展示、試食提供等 資料やパネル等の検討を支援。
雄勝	①平成25年10月19日 ②平成25年10月26日～27日 ③平成25年10月29日 ①羽後町、②③湯沢市	①羽後町健康祭・・・塩の多いフードモデル展示、 生活習慣病予防リーフレット配布等 ②湯沢市食育事業・・・フードモデル展示、リーフ レット・ティッシュの配布、試食等 ③湯沢市減塩教室・・・味噌汁の塩分濃度測定、講 話、減塩料理の実演と試食 等

ウ 食生活改善推進員による普及啓発活動(秋田県食生活改善推進協議会委託)
食生活改善推進員が、地域に密着した普及活動を実施することにより、県民
に「減塩」の大切さを再確認し、実践できるように支援する。

市町村イベントでの普及啓発活動: 18カ所 4,220人

地域における減塩普及活動: 18市町村55カ所 8,757人

エ 調理師による減塩テクニック・減塩献立普及事業(秋田調理師会・角館調理
師会委託)

調理師が、うす味への理解・定着をめざし、秋田の素材等のおいしさを生か
した調理方法や献立について普及する。

<秋田調理師会>場所: 第8回食の国あきた県民フェスティバル会場(秋田駅
前アゴラ広場)

開催日: 平成25年10月6日

内 容: 減塩料理の試食 5品×80人分

<角館調理師会>場所: 第136回秋田県種苗交換会会場(仙北市田沢湖生保内
武道場)

開催日: 平成25年11月1日～2日

内 容: おいしく手軽にできる減塩料理の実演指導及び試
食 減塩料理2品×500食の試食、ヘルシーレシピ、
減塩の資料の配付
食の健康づくり応援店等各種パンフレットの配布。

⑤その他関連事業

ア 糖尿病予防研修会の開催

生活習慣とかわりの深い糖尿病についての認識を深め、糖尿病の予防意識
を高めるために対象に開催した。

開催日 平成26年3月11日 秋田ビューホテル

参加者 食生活改善推進員、市町村職員、健康保険組合担当者、一般住民ほ

か約74名

- 内 容 ・ 講演「糖尿病の予防について」
講師 秋田大学大学院医学系研究科
内分泌・代謝・老年内科学講座 教授 山田祐一郎氏
・ 講話・実技 「運動の効用について」
～頑張らなくてもできる運動から始めましょう～
講師 日本健康運動指導士会秋田県支部長 柴田栄宜氏

イ スーパー等で実施している食関連事業と連携
伊徳・タカヤナギの既存事業を活用して小学生に減塩の必要性をPRした。
参加者数：伊徳約440人、タカヤナギ約400人

(2) 「スポーツ立県あきた」健康づくり推進事業

生活習慣として、一週間に2回以上運動する成人の割合を60%（平成25年）とするなど、身近で自分に適した運動を行う人の増加を図る（スポーツ振興基本計画による目標）。

1) サポーター・マネージャー活動支援事業

- ① サポーター・マネージャーの登録状況
 - ・ サポーター数 平成24年3月末現在 3,615名
 - ・ マネージャー数 平成24年3月末現在 3,104名
- ② ニュースレターの発行
 - ・ 各福祉環境部で年1回発行

2) 地域健康づくり活動支援事業

- 特色ある地域の健康づくり事業を行う団体の活動に対する助成
- ・ 6月公募 6団体採択（応募：13団体）

(3) たばこ対策促進事業

発がん物質が多数含まれるたばこの健康に及ぼす影響について、フォーラムの開催や街頭キャンペーンの実施により周知を図り、がん予防対策を推進する。

- ① 世界禁煙デー秋田フォーラムの開催
 - ・ 開催日 平成25年6月1日
 - ・ 場 所 カレッジプラザ
 - ・ 内 容 講演「たばことPM2.5」
講師 すずきクリニック院長 鈴木 裕之
パネルディスカッション「たばこで困る病気」
- ② 世界禁煙デー街頭キャンペーンの実施
 - ・ 開催日 平成25年5月31日
 - ・ 場 所 秋田駅東西連絡自由通路（ぼぼろード）
 - ・ 内 容 県医師会などの関係機関と協力して啓発資材（ポケットティッシュ2,000個）を配布
- ③ 受動喫煙防止秋田フォーラムの開催
 - ・ 開催日 平成25年9月28日
 - ・ 場 所 カレッジプラザ
 - ・ 内 容 講演「長生きのこつー健康問題だけでないタバコの怖さー」
講師 東京巣鴨 とげぬき地蔵尊高岩寺住職
循環器内科医 来馬 明規

(4) 健康教育推進事業

すべての県民が、秋田県健康づくり推進条例の趣旨を理解し、関係者の協同のもとに健康づくりに努め、生活習慣病の罹患者や死亡者が減少し、健康長寿社会を実現するため、(一社)秋田県医師会が開催する「県民の健康と医療を考える集い」の開催経費に対し、助成する。

- ・補助対象 (一社)秋田県医師会
- ・補助額 500千円
- ・実績 各郡市医師会8カ所で開催。1,956人参加。

(5) 地域・職域連携推進事業

地域(市町村)と職域(事業所)が連携することにより、特定健康診査等の効果的な保健活動の実施を図る。

- 秋田県地域・職域連携推進協議会 開催 1回
- 2次医療圏地域・職域連携推進協議会 開催 7回(大館、北秋田合同実施)

(6) 特定保健指導実践者育成研修会

特定保健指導実践者の資質向上を図ることを目的として開催(秋田県保険者協議会に委託)。

- ・実施日 平成25年9月17日
- ・会場 秋田県市町村会館
- ・参加者 139人
- ・内容
 - 講演「身体活動基準2013とアクティブガイド」
講師 独立行政法人国立健康・栄養研究所
健康増進研究部 部長 宮地 元彦
 - 講義「効果的な減量プログラムのポイント」
講師 神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部
栄養学科 教授 鈴木 志保子

6 食育推進事業

県民一人ひとりが生涯にわたって生き生きと暮らすことができるよう、秋田の自然や風土に調和した豊かな食生活の実現を目指した県民運動の展開や地域での食育活動の充実を図る。

(1) みんなで創ろう「食の国あきた」推進事業（農林水産部からの移管）

1) 県民総参加による食育推進運動の展開

①「食の国あきた」推進会議の開催

第2期秋田県食育推進計画の推進母体として設置。

委員構成：PTA連合会、学校給食協議会、(公社)秋田県栄養士会、(公社)秋田県食品衛生協会、農山漁村生活研究グループ協議会、農協中央会、(一社)秋田県歯科医師会、(財)秋田県学校保健会、大学教授、公募委員等18名

幹事課：幼保推進課、生涯学習課、保健体育課、子育て支援課、県民生活課、生活衛生課、農林政策課、農業経済課、観光振興課、健康推進課

開催日：平成26年2月18日

参集委員：委員12名、幹事課12名

内容：第2期秋田県食育推進計画における指標の達成について
平成25年度の食育の取組状況について 等

②食育地域ネットワーク会議

市町村の食育の充実強化のため市町村食育計画の策定推進や、地域の実情にあわせ関係者間の共通認識、食育活動について意見交換する。

3 福祉環境部で開催。

福祉環境部	実施年月日(場所)	内 容	参加者数 (人)
山本	平成26年3月12日 (藤里町総合開発センター)	○情報提供 ・「県内市町村食育推進計画の策定状況について」 (秋田県健康推進課) ・「地産・地消の推進について」 (山本地域振興局農林部) ○先進市事例紹介 「大館市の食育のすがた～市全体で取り組む～」 大館市福祉部健康課 田村敦子氏 ○町食育推進計画の策定についての意見交換	16
秋田	①平成26年1月29日 (八郎潟町保健センター)	○協議 八郎潟町食育推進計画の策定について ○その他 ・策定のための作業部会3回	27
北秋田	平成26年2月27日 (上小阿仁村役場)	○情報提供 ・「県内市町村食育推進計画の策定状況について」 (秋田県健康推進課) ・「他市町村の食育推進計画について」 (北秋田地域振興局福祉環境部) ○村食育推進計画の策定について	13

③「食の国あきた」県民フェスティバルの開催

「食の国あきた」県民運動を広く県民に普及啓発するとともに、秋田の豊かな食文化の発信をおこなうため、第8回「食の国あきた」県民フェスティバルを開催した。

・実行委員会の開催

開催日：平成25年9月12日（木）（秋田地方総合庁舎6階 第14会議室）

参加者：25名

・フェスティバル

開催日：平成25年10月5日（土）、6日（日）

場 所：秋田駅前アゴラ広場・仲小路大屋根下

主 催：「食の国あきた」県民フェスティバル実行委員会

テーマ：「おいしい秋田で健康秋田」

参加者：約24,000人

内 容：○食育イベント……アゴラ広場ステージ

・スペシャル“バターもち体操”

（本城奈々さん&県内ゆるキャラ）

・「高校生プロダクツ商品」の紹介（大館高等学校、大曲農業高等学校、秋田商業高等学校生徒）

・かんたん&おいしい減塩クッキング（高堂路子さん）

・餅つき体験&餅のふるまい（大仙市 餅つき道場）

・キッズダンスと踊ろう 食の国あきた2013（ダンスアベニュースタジオS ジュニア）

○秋田の味コーナー……アゴラ広場・仲小路大屋根下

・魚加工品等（秋田県漁協）

・食肉加工品（（株）秋田県食肉流通公社）

・季節の鍋物（大内農産物直売所「ひまわり会」）

・比内地鶏肉、加工品（秋田県比内地鶏ブランド認証推進協議会・あきた北央農業協同組合）

・米粉の餃子（（株）餃子計画）

・青果物・加工品等（しったけ旨屋市ほか）

○展示コーナー……アゴラ広場・仲小路大屋根下

・食事バランスガイド・健康レシピ配布

（秋田県食生活改善推進協議会）

・地産地消鍋の試食（ハウス食品（株）・JA全農あきた）

・食育教材展示・栄養相談（（公社）秋田県栄養士会）

・食肉の生産～流通パネル展示と試食（秋田県食肉消費対策協議会）

・秋田のお魚タッチプール（秋田県水産振興センター）

・食の安心・安全パネル展示（秋田県生活衛生課）

・体内年齢チェック（秋田県健康増進交流センター「ユフォーレ」）

・お米マイスターによる「お米の教室」（秋田県ごはん食推進会議）

・減塩料理の試食・レシピ配布（秋田調理師会）

○あきた産デーフェア……仲小路大屋根下

・県内各地の「食」の展示・直売、野菜ソムリエによる実演 ほか
（NPO法人地産地消を進める会、あきた産デーフェア出展者協議会）

2) 地域における食育実践活動の充実

①食育推進リーダーの育成

県民一人一人が生涯にわたって生き生きと暮らすことが出来るよう「食の国あきた」推進運動を効果的に展開するために、地域での体系的な食育活動を牽引する人材を育成し、身近な実践活動としての食育の定着・拡大を図った。

・食育推進リーダー対象者

市町村食育計画策定済市町村から 推薦された者 5 名が食育指導士講座を受講。
(食育ボランティア以外で現在食育活動に取り組んでいる者 1 名、食育ボランティアとして活動している者 4 名)

・修了者 (食育指導士講座修了者) 4 名

・研修会

開催日：平成 26 年 1 月 22 日 (水)

参加者：36 名

食育推進リーダー 6 名 (H23 年度修了者 1 名、H24 年度修了者 2 名含む)

食育推進リーダーを推薦した市町村の担当職員 19 名

地域振興局福祉環境部食育担当職員 7 名

健康福祉部健康推進課 (担当課職員) 4 名

講 話：「地域に根差した食育活動について」

講師 聖霊女子短期大学 生活文化健康栄養専攻 准教授

山谷 昭美 氏

情報交換会 ①食育推進リーダーの紹介

②各市町村の取組紹介

③意見交換 食育活動の進め方

②ボランティア等の活動支援及び幅広い世代への食育の普及

ア 食育研修会・地産地消交流会

食育・地産地消運動の核となる食育ボランティア及び地産地消サポーターの実践活動を支援するとともに、食育関係者の活動の充実強化を図り、また、生産者・流通関係者・飲食関係者・消費者が、農林水産物加工品の情報交換を通じて、互いに顔が見える関係を築き、一体となって運動に取り組む体制を強化することを目的に開催した。

開催日：平成 26 年 2 月 14 日 (金)

参加者：食育ボランティア、地産地消サポーター、保健・福祉・教育に関する関係機関及び食育推進関係団体 農業協同組合、直売所、加工グループ、量販店、食品関係者、行政関係者・一般県民等 279 名

内 容：・講演：「脳・心・体を育てる」～ご・ず・こん食育を通して～

講師：食育アドバイザー 宮島 則子 氏

・地産地消！試食・販売情報交流

県内の直売・農産加工グループ等による加工商品の紹介

野菜ソムリエによる“旬野菜”を活用した料理の紹介

イ 食育アンケート

食県内の家庭における食育の意識や、共食・バランス食などの適切な食生活の実践状況を把握することを目的に、子育て世代 (3 歳児の保護者) に対するアンケート調査を実施した。集計結果を市町村へ返却した。

期 間：平成 25 年 10 月～12 月

実施場所：県内 24 市町村 (調査期間中 3 歳児健康診査を実施した市町村)

調査方法：事前配布または聞き取り方式

調査数・回答率：対象数1,203名、有効回答数1,028名（回答率85.5%）

結果：回答者〔続柄〕母親 92.3%〔年代〕20～30代 85.9%

	項目	割合	備考
1	食育に関心のある人の割合	88.8%	H24 90.0%
2	1週間で毎日1回以上家族と一緒に食事をする割合	93.8%	H24 95.8% H23より共食を家族全員揃った食事に限定していない
3	1週間で家族一緒に食事した回数(朝食+夕食)	10.6回	国計画の目標値 10回以上 H24 10.6回
4	1週間の食事でごはん(米)・パン・めん等の穀類を食べた回数の割合	93.1%	ごはん(米)の割合68.2% H24 95.0%
5	地域の郷土料理や地場産物の活用を心がけている人の割合	63.4%	H24 37.1% (H24は県産食材や旬の食材をいつも活用している人の割合)
6	メタボリックシンドロームを内容を含め知っている人の割合	75.0%	H24 66.8%
7	6の内、メタボリックシンドローム予防や改善のための適切な食事、運動等を半年以上継続して実践している人の割合	17.2%	国計画の目標値50% H24 69.4% (H24は時々実践している人を含む)
8	食事バランスガイド等を参考にしている人の割合 ※参考としている指標 食事バランスガイド」、「6つの基礎食品」、「3食分類」等	43.3%	H24 59.4% H23よりバランスガイド以外も含む 国計画の指標 H27 60%以上
9	野菜を食べることを心がけている人の割合	98.3%	新規項目

ウ 食育ボランティアの活動状況（H25年度実績）

・食育ボランティア登録者数（平成25年度末）3,384人

平成25年度末食育ボランティア割合

農業指導者等 723人（21.4%）

食文化伝承等 341人（10.1%）

小売・卸・流通関係 58人（1.7%）

栄養士 7人（0.2%）

食生活改善推進員 1,870人（55.2%）

食育を推進する者 385人（11.4%）

・主な活動内訳

料理講習会：親子料理教室、男性の料理教室、伝統料理講習等

食生活改善指導：減塩教室、糖尿病予防教室等

農作物栽培指導：親子農業体験、米づくり、小学校での農作業体験指導

農産物加工指導：餅つき、豆腐、だまこ鍋、バター餅、巻き寿司等

業務紹介他：市民文化祭等イベント、あきた減塩推進事業等

エ 市町村食育推進計画の策定状況

H25年度末まで作成 22 市町村 (88.0%)、H26年度作成予定 3 町村

市町村	作成状況	計画の名称	作成(予定)時期	備考
鹿角市	済	鹿角市食育推進計画	H21. 3. 27	
小坂町	済	小坂町食育推進計画	H23. 3. 31	
大館市	済	大館市食育推進計画	H22. 3. 24	
北秋田市	済	北秋田市食育推進計画	H24. 3. 30	
上小阿仁村	策定予定		H26年度	
能代市	済	能代市食育推進計画	H23. 3. 31	
藤里町	策定予定		H26年度	
三種町	済	三種町食育・地産地消推進計画	H24. 3. 31	
八峰町	済	八峰町食育推進計画	H23. 3. 31	
秋田市	済	秋田市食育推進計画	H24. 3. 31	
男鹿市	済	男鹿市食育推進計画	H24. 3. 14	
潟上市	済	第2次潟上市食育推進計画	H26. 3	第1期はH21. 3
五城目町	済	第2期五城目町食育推進計画	H26. 3	第1期はH21. 3
八郎潟町	策定中		H26年度	
井川町	済	井川町食育推進計画	H23. 3. 31	
大潟村	済	大潟村食育推進計画	H24. 2. 27	
由利本荘市	済	由利本荘市食育推進計画	H22. 3. 16	
にかほ市	済	にかほ市食育推進計画	H24. 12	
大仙市	済	大仙市食育推進計画	H20. 12. 19	
仙北市	済	仙北市食育推進計画	H21. 3. 18	
美郷町	済	第2期美郷町食育推進計画	H24. 12	第1期はH21. 3. 3
横手市	済	横手市食育推進計画	H21. 3. 31	
湯沢市	済	湯沢市食育・地産地消推進計画	H23. 3. 31	
羽後町	済	羽後町食育推進計画	H24. 3. 31	
東成瀬村	済	東成瀬村食育推進計画	H24. 3. 31	

